京城日報
廿五日夕刊
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

內務總長問題行惱

英國派氏の內務總長承諾問題又復行惱となれり(北京電報)

對希臘要求通牒交附

聯合國は希臘に對し去る十二月一日の暴動を聯合委員を組織して調査する事希臘の要求賠償を聯合國の管理に委ねる事拘禁中のヴエネゼロス派の黨員を釋放するの要求を爲すの通牒を希臘政府に交附せられたり(倫敦電報)

英國勞働豫備隊動員

英國新任國民兵役總監は
一、戰時勞働者登錄局の開設
二、十六歲より六十歲迄の男子の勞働志願者を募集する事
三、女子に適當なる職業に從事する樣勸誘して氏名を登錄せしむる事
等の方針にて勞働豫備隊を動員しつゝあるもの如し(倫敦電報)

英國輿論冷然
米國大統領の通牒に對し

ウイルソン氏の通牒を受取りたる英國の輿論は頗る冷然たり此の際米國より調停がましき申出に接すべきものにあらずとし多分交戰國双方が同一の目的の爲め戰ひつゝありと云ふウイルソン氏の陳述は最も意外とする所なりとせり各新聞紙は一齊に論じて曰くロイド、ジヨージ氏の演說は既にウイルソン氏の通牒に答へたるものなり聯合國は協同一致して獨逸の軍國主義が擊滅せらるゝ迄は斷じて干戈を戢むるものにあらずと表明したり更に又曰く米國は此の際彼のリンカーン氏が南北戰爭の時歐洲より來る一切の干涉的交涉を冷然拒絕したる當時を顧よと(倫敦電報)

通牒說明書發送

二十二日米國國務卿ランシング氏はウヰルソン大統領の講和通牒說明書を各交戰國に發送せり(紐育電報)

獨墺側に忠實か

米國大統領ウイルソン氏の講和通牒書によれば各交戰國に對し具體的條件の提出を强ゐたるを疑はず結局ウイルソン氏の通牒は獨墺側に忠實なるものゝ如しと一般に批評せられつゝあり(紐育電報)

帝國は不提出か

米國大統領ウキルソン氏の講和條件開陳要求に對し帝國政府は聯合諸國の意嚮を俟つて決定する事とせるも結局講和條件は提示せざる事となるべしと觀測する者あり(東京電報)

卅八帝國議會成立

政府は二十五日を以て第三十八帝國議會を東京に召集したるが此成立次第を 闕下に奏上せり(東京電報)

▲貴族院 第三十八帝國議會は二十五日を以て東京に召集せられたるが貴族院は議員二百九十五名參集し部長及び理事互選の後午前十時二十分散會したり(東京電報)

▲衆議員 廿五日の議會開會に於て衆議院登院者三百三十八名にして中橋德五郎氏外七名の新議員紹介及役員選舉等あり後散會せり(東京電報)

公正會の成立

公友俱樂部及び中正會の合同したる公正會は近日愈々成立を見るに至れり(東京電報)

株式救濟協議

英國大藏證券第一回拂込み濟となり一般金融は益々緊縮し株式市場救濟方法に關しては廿四日より日本銀行日本興業銀行及び市內の主なる銀行代表者間に於て協議中なるも未だ具體的案の發表なしと(某所着電)

支廠平壤說

新設せらるべき大阪砲兵工廠朝鮮支廠は平壤に設置せらるゝ事に決定せりとの說あり(東京電報)

軍司令官動靜

秋山軍司令官は二十五日午後一時三十分光州著官民有志學校生徒等二千餘名の出迎を受け東雲旅館に投宿せるが同夜宮木道長官邸の晩餐會に臨み二十六日は守備隊を檢閱し正午木浦に向ふ豫定なり(光州特電)

高山少將動靜

關東都督府參謀長高山少將は二十四日夕刻安東縣著同夜官民有志の歡迎會に臨み二十五日午前軍隊を巡閱し午後三時三十分五龍背に赴き溫泉場にて田村領事代理以下二十餘名を招待せるが氏は二十六日朝更に北行すべし(安東縣特電)

總督邸晩餐會

長谷川總督は二十六日午後六時三十分より山縣政務總監以下京龍間文武勅任官四十餘名を官邸に招待晩餐會を開く

總督茶菓饗應

長谷川總督は二十九日午後四時より總督本府並に所屬官署內各課長以上の職員を官邸に招待茶菓の饗應ある由

氣象通知電報開始
明年一月一日より實施――矢野通信課長談

航海業、土木業、養蠶業、製鹽業、農業等其他氣象狀況を豫知するの必要ある事業に從事するものは出來得る丈速かに天氣豫報暴風警報其他の氣象實況を知るの必要ありと雖も從來朝鮮に於ては氣象通知電報規則の如きものなかりしを以て氣象に關する通報を得るに不便少からざりしも今總督府令第百〇二號を以て氣象通知電報規則を發布し明年一月一日より實施の事となりたるを以て今後は航海業者其他農業者等の爲め利便とする所少なからざるべし今左に其規則の要點を述ぶれば左の如し

▲氣象通知電報の種類 氣象通知電報は(一)天氣豫報(二)暴風警報(三)各地氣象實況報(即ち各地方に於ける氣壓氣溫、風向、風速力、降水量等の實況を通知するものにして天氣圖の材料となし得るもの也(四)高低氣壓實況報(低氣壓高氣壓の所在せる位置を示すものなり)の四種あり

▲氣象電報の記載方 氣象通知電報の記載方は符號及び譯文の二種あり符號とは北の風晴の意味を(イ〇〇〇〇)の二字にて示すが如く符號を以て記載するものにして譯文とは以上の符號を北の風晴とか或は西の風曇とかの文字に譯したるものを云ふ

▲氣象電報の料金 氣象通知電報の料金は臨時請求のものを除くの外月額を以てするを原則とす其料金左の如し

▲天氣豫報
符號は一ヶ月分二圓五十錢 一通分十四錢
譯文は一ヶ月分三圓二十五錢 一通分十三錢

▲暴風警報
符號は一ヶ月分一圓 一通分十錢
譯文は一ヶ月分一圓三十錢 一通分十三錢

▲各地氣象實況報
每日一回分一ヶ月十五圓 一通分六十錢
每日二回分一ヶ月三十圓 一通分六十錢

▲高低氣壓實況報
每日一回分一ヶ月三圓 一通分十二錢
每日二回分一ヶ月六圓 一通分十二錢

各地氣象實況報及び高低氣壓實況報の場合は符號のみを以てする者とす

▲受信の開始 氣象通知電報の受信を開始せんとするときは受信開始前十五日前に其受信せんと欲する電報の種別開始期日及び受信人の居所氏名等を記載したる請求書を同電報を配達する電信局所に差出されたし要するに氣象通知電報規則に依り從來よりも低廉且利便の方法を以て氣象の通知を得らるゝことゝなりたるところなり

明年遞信豫算

大正六年度の遞信局豫算に付佐々木計理課長の談を聞くに明年の遞信豫算は何等新奇の計畫なく殆んど前年の襲踏と云ふを妨げず乃ち歲入に於ては若干の自然增收を見込み居る丈けにて特異なく歲出は電信電話線路標識新設費四萬圓は前年通りの計畫十萬圓遞信部內の新營費十萬圓航路上にて唯若干增加し居るは事業の擴張に伴ふ經費增加十三萬圓なり尙時々世所に上る朝鮮小口保險實施に關する經費は其の施行の制合未だ發布されざる事とて何等の費目を計上し居らず若し諸準備進行して大正六年度より之を施行する事とならば追加豫算の形式による事となるべしと云々

南龍輕鐵計畫

鎭南浦龍岡間の輕便鐵道を敷設して其後如何との事は今秋來の說にして其後鐵道局に於ても本月初旬技手、書記各一名を派遣し南龍間十二哩餘を實地踏査せしめ且つ貨客の現在及び將來の運輸數量を始め營業經濟等をも精查し一方敷設工事の假設計にも著手中のところ此頃完全に調製を了したるなるが由來南龍間輕鐵は恰も裡里全州間の輕鐵線と酷似し居り敷設工事及び諸多の設備には約十六七萬圓を以て足るべく旅客及び普通貨物運輸の收入を除外し單に彼の廣梁灣專賣局出張所製造の官鹽のみを受負ひ貨物輕鐵として輸送をなすも輕鐵經濟の收支を相償うて餘りあるもの如く或は近く企業家を出すべき模樣なり(鎭南浦)

製糖補助問題

製糖株式會社設立の件に就きては本紙二十六日朝刊所報の通りにして其の願書は既に總督府に到達目下殖產工部に於て詮議中なるも補給金支出の件に就きては何等附議せられず從つて同會社にして假令其の設立を許可せらるとも補給金云々の件は全く問題外なり

東拓の小異動說

東洋拓殖會社にては最近松田鷄林出張所長辭職し近く又葉山浦出張所長肥田參事依願退社の事となるが其の結果近く社員の小異動を見るべく本社參事より地方所長への轉任者を出すもの如し尙ほ數日前依願免官となりし土地調查局監查官吉田英三郞氏は年內東拓に入社すべしと

東拓所長會議期

東拓幹部更迭後の第一次地方出張所長會議は一月中開會すべしとの說ありしも更に聞く所によれば右は二月に入るべし

警務總長歸任期

江原道方面管內巡檢の爲め出張中なる古海警務總長は二十六日午後五時京城著歸任す可し

古市町郵便所移轉

十二月二十六日より現京城古市町にある郵便所を岡崎町に移轉せり但し所名は變更せずと

▲柏本停車場改稱 大正六年一月一日より中央線「柏本停車場」を「東中野」驛と改稱の旨鐵道院より鮮鐵に通知ありたりと

學校組合決算
京畿道內廿八組合

京畿道管內に於ける學校組合は二十八にして之れが大正四年度中に於ける經費の歲入出決算に就ては京畿道地方係に於て調查中の所此程全く脫稿せり

▲歲入經常部 合計二十九萬六千百九十三圓にして前年の二十七萬七千百二十二圓に比し一萬九千七十一圓を增し歲入臨時部九萬九百五十四圓にして前年の九萬五千百八十四圓に比すれば四千二百三十圓を減じたるも歲入總計に於ては三十八萬七千百四十八錢にして之を前年の歲入總計三十七萬二千三百七圓に比し一萬四千八百四十一圓を增加したり而して歲入の主なるものは賦課金戶別割及び授業料等なり

▲歲出經常部 にありては合計二十七萬八千七百三十三圓にして前年の二十五萬四千二百五十六圓に比し二萬四千四百十七圓を增し同臨時部にありては合計七萬五千四百六十六圓にして之を前年の九萬八千三百七十七圓に比する時は二萬五千九百十一圓を減じ更に歲出總計に於ては三十五萬一千六百圓となり前年の三十五萬五千六百三十三圓に比し一千四百三十三圓を減じたり歲出の主なるものは事務所及び敎育費にして尙本年度に於ける歲入總計三十八萬七千百四十八圓に歲出總計三十五萬一千二百圓に比する時は三萬五千九百四十八圓の剩餘金を生ずることゝなるも右は何れも基本財產收入として翌年度に繰越せるもの多し

赤字職員囑託

赤十字社朝鮮本部にては此の程左の四氏に對し頭書の如く其れ〴〵同社役員を囑託せり

朝鮮本部評議員 總督府外事課長 久水三郞
公州支部副長 忠淸南道警務部長 神田長平
仁川委員長 仁川府尹 楠野俊成
淸津委員長 淸津府尹 吉田格之進

尙ほ社業上の功勞篤志者に對し同社にては左記諸氏を特別社員に推薦し又た木杯を贈與せり

京城 佐藤信好
晉州 金潡禎
春川 朴贊祐
同 宋宅英

木杯一組贈與者 光州 織田德次郞
木杯一個宛贈與者 二十四名

愛婦職員囑託

愛國婦人會朝鮮本部にては左記の諸氏に對し頭書の如く役員を囑託せり

朝鮮本部評議員 總督府外事課長夫人 久水和歌子
公州支部副長 忠淸南道警務部長夫人 神田よし子
仁川委員部長 仁川府尹夫人 楠野まさ子
同顧問 同府尹 楠野俊成
淸津委員部長 淸津府尹夫人 吉田とみ子
同顧問 同府尹 吉田格之進

尙ほ會務上の功勞に對し有功章並に木杯を贈與せられたる者左の如し

三等有功章贈與 光州 織田德次郞
同 平壤 中島德四郞
同 海州 氏野春子
木杯一個宛贈與 十九名

警務部忘年會

京畿道警務部及び憲兵隊本部職員は廿四日午後六時より大和町二丁目梅の家に於て忘年會を催し出席者七十餘名にて盛會なりき

電通落成祝宴

豫て工事中なりし日本電報通信社及び朝鮮公論社は今般大半落成せるを以て忘年會を兼ね落成自祝の意を以て廿五日午後六時同社樓上に東拓並に鮮銀重役民間の重なる者及び各新聞通信雜誌社代表者を招待し又各新聞雜誌記者を來る二十七日午後六時花月に招待して忘年會を開く由

切田氏渡米期

經濟及び實業教育視察の爲め渡米すべき善隣商業學校教頭切田太郞氏は來る二十八日朝八時三十分南大門驛出發東上し一月十五日橫濱解纜の日本丸にて渡米すべしと

春川

▲夜學會修了式 春川公立普通學校に於ては二十二日午後七時より第五回夜學會修了證書授與式を舉行せらる來賓は李道長官古市學務主任野村農學校長齋藤苗圃主任其他日鮮官公吏二十餘名にして校長祭式の辭に次ぎ君が代勅語奉讀終つて修了員高等科二十名普通科十五名に對し證書を授與し校長の告辭修了員の答辭終つて李道長官は明治十四年頃日本留學中の苦學談を交へ訓告的講話をなし午後八時三十分終了來賓は別室に於て茶菓の饗應をうけ退散せり因に本會は大正元年現吉永校長着任當時開始せられ爾來職員の熱心により年々發展の狀態なり今創設以來の修了員狀況を見るに俸給衣食八十一人農業四十三人商業十三人工業三八其他四十一人なり

平壤

▲銀盃下賜 平壤府居住奈良縣平民中平岩藏氏は大典紀念の爲本年三月三日金五百圓を平壤學校組合に寄附したる處此程總督府より銀盃一個下賜せられたる本月廿二日本人に交附せられたり

▲聯合賣出好景氣 平壤實業協會主催の既報歲末景品附大賣出は異常なる市情の賑に伴ひ各商店の賣行押詰ると共に活氣を煽り出し現に賣出初日より廿一日卽ち一週間の景品引換所に於ける引換個數は昨年同期に對比し約三割以上の增加なれば景氣付ける此趨勢より推せば賣上豫想高の六萬圓を超過するやも知れずと

▲有志忘年會 平壤商業會議所評議員及び其他の名譽職並に新聞記者等は二十二日午後六時より壽に於て忘年會を開催せり

▲演武場の寒稽古 平壤演武場に於て明年一月六日より向三十日間柔道擊劍の寒稽古を爲す由なるが從來師範として柔道部杉浦二段野呂初段川戶二段今回更に柔道部に初段永野三之助氏を招聘すべく尙擊劍部に平壤警察署在勤の奧山師範及び七十七聯隊の大木大尉を招聘し專ら平壤靑年の士氣振策に努力すべしと

仁川

▲燐寸會社發起人會 仁川有志發起に係る朝鮮燐寸會社設立認可は來る一月上旬頃の見込みにて已に株式應募の申込みも好况を呈し居れるを以て廿四日午後七時より仁川ホテルに發起人會を開催し今後の方針に就いて凝議する處ありたるが聞く處に依れば同會社設立の方針として安全燐寸は仁川に於て製造するも黃燐マッチ工場は某々地方に設立し軸木外箱等は鴨綠江上流の豐富なる材料を利用すべく新義州に製造所を設くるに至るべしと

▲警察署擊劍納會 仁川警察署にては二十五日午後一時より構內演舞場に於て擊劍會を爲したり

▲稅關倉庫大繁劇 仁川稅關倉庫は上屋荷揚上屋倉庫を合して約千九百坪以上に達しつゝ有るが最近に於ける收容貨物は米一萬二千叺の外輸移入貨物約五六百噸ありて昨今は此れが出入繁劇を極め空前の盛况を呈せり

釜山

▲生田水產課長 總督府水產課長生田淸三郞氏は二十三日來釜し朝鮮水產組合長大原庄太郞氏と同道二十四日慶尙南道廳を訪問すべく晉州に赴きたるが二十五日は馬山より水產組合巡邏船慶仁丸に搭乘鎭海及び德島方面の鱈漁場を視察し一應歸釜二十七日更らに方魚津方面の同漁場を視察の筈なり

▲ホテルのクリスマス 釜山鐵道ホテルにては例年の通り釜山兩新聞及び各支局の記者其他を招待し廿五日午後六時より基督降誕祭を施行す

人事消息

▲セーチャー氏(米人) 二十五日夜入京朝鮮ホテルへ
▲西鄉從親氏(鎭海防備隊) 廿四日朝釜山上陸
▲日高道氏(鎭海第十八驅逐艇隊) 同上
▲岡俊雄氏(鐵道局技師) 同上
▲石井光雄氏(鮮銀釜山支店長) 同上
▲臼井永城氏(辯護士) 廿五日入京即日退京

▲眼鏡▼
九金細ツル 一匁三分 六圓五十錢
十八金 一匁七分 八圓七十錢
十八金細ツル 八圓 十錢
二十金 一匁六分 十一圓
二十二金 一匁 十三圓
米國製金張玉付 甲三圓五十錢 乙三圓
銀緣一圓三十錢以上三圓五十錢迄
赤銅無地八十錢以上二圓五十錢迄
鐵、赤銅金次二圓五十錢以上五圓迄
鐵本ニッケル
凹凸平 用米國特製玉 各種
メニスカス玉
クリ山玉
サック類十錢以上一圓五十錢
各眼科病院指定眼鏡製作
各地方より御注文の節は代金引替にて直ちに送附申上候但送料實費
京城本町一丁目郵便局前 中村眼鏡店

。歲暮用土產品
北鮮名產 粕漬明太子
取次販賣御希望者は特に御相談に應ずべく候
製造發賣元 元山仲町一丁目 八浪商店 電話一三三番
京城販賣店 京城本町三丁目 八浪出張店 電話三四二五番

最も信用ある東京三金の靴
ボックス長靴 宇長靴 本長靴 金五圓五拾錢 金六圓也
ボックス革製編上 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金參圓五拾錢 第二號 金四圓五拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般實用紳士靴として好適なり御注文の節は靴型(紙類など足袋の文數御通知次第代金引換小包(送料實費)にて送附す
最新目錄進呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九〇 振替東京一七一三〇番

佐賀縣三養基郡基里村(田代驛四丁)
結核專門 古賀病院
醫學博士 古賀玄三郞 診察
休診期日(十二月廿九日より卅一日迄)(一月三日より七日迄)午前中診察

驚くべき朝鮮の美術品

—將來の進步—ワァナァ氏の談

米國のボストン、クリーブラン兩博物館の囑託ワァナー氏は朝鮮古美術品研究の爲め入京中のところこれから内地の京都奈良地方をも見物したいとて去る二十二日出發した、氏は入京中幾多の

◇朝鮮古美術品を見 たよろこびと且つまた長谷川總督、山縣政務總監より示された厚誼が何よりも感謝に堪へぬとて非常なる滿足の態であつた、氏は猶ほ官憲の厚意を感謝して措かず、現下の如く日本が戰爭中であるにも拘らずわれ等外人に對して胸襟を開いて親切を盡くさるゝとは實に意外に感じたるところにてよく外國に於ては

◇一種の色眼鏡にて 見らるゝ例あるにも拘らず自分は初めて暢びりしたる快感を以て三週間の滯在を了つたのであつた、殊に山縣政務總監閣下は流暢なる佛蘭西語を以て引見應接せられたる上におみやげとしては結構なる朝鮮古蹟圖譜まで餞むけせられ何ともお禮の申し上げやうもなき次第である、自分はまた暇があつたならば明年再び朝鮮に來て見殘した慶州の

◇佛國寺ご平壤附近 の古墳の模樣を見たいと思ふ、元來私は這回初めて朝鮮を來訪した譯ではなく曾て今から五年以前にも一度來たことがある、併し其の時と今とを比較すると朝鮮の開化したとは驚くべきもので殊に古美術品の調査見學には今日の方が非常に便宜となつてゐるのは洵に感謝の外はない、猶ほまた鮮人に接して

◇朝鮮の事物を研究 するとも秩序立つた今日では洵に便利となつた、私の這回の滯留中も皮相の觀察ながら幾多の便宜により容易に見物し得たことを悦んでゐる、朝鮮將來の美術品に就いては私は多大の望みを有つてゐる一人である、如何となれば鮮人は支那人よりも日本人に近く且つ手さきの仕事に巧妙であるからこれから内地人の指導によつて

◇立派な美術を製出 する事は難くはない、殊に鮮人は生活の程度が低いから時間と手間を吝まずゆつくりと拵へあげることが能きる日本のむかしでも生活が容易であつたから立派な蒔繪の如きでも落付いたものが出來たやうであるそれで將來若し中央試驗所などを美術の學校とし日本の名工が指導したならば朝鮮の美術品は立派なものになるだらうと思ふ、また陶土に富める朝鮮では古代の

◇高麗燒の如き秀優 な作品を出すことも難くはあるまいこれを大規模にやれば電氣事業に用ふる需要多き陶器からこれを小規模にしては風雅なる美術品の製出など最も有望であらうと思ふ、自分は米國のヘンリーシーグルやマーシャルフィールドなどの百貨店に朝鮮の陶器を土産に贈つて大に朝鮮陶器の紹介に努めやうと思ふ、昨今朝鮮では官憲の力で非常に

◇美術品の保護に努 めてゐるのは勝手に古墳の發掘などを許されぬはよいことゝ思ふが其の代りに官憲の方で既く地中に埋沒された寳物を掘り出して貰ひたいものである

監禁して辱む

紛等價格二圓餘の物品を持ち行くを里酒業妾西玉方に立ち寄りたるに……したるに依り玉女は泣く〜此旨羅……に送られた

セルロイド製造 工場爆發

死傷者十數名

去る廿三日午前十時四十分大阪府西成郡北中島村合資會社三國セルロイド製造工場攪拌室に於いてセルロイドの原料たる消火綿樟腦アルコールを攪拌器にて攪拌中電動力中止したるも猶加熱したる爲消火綿爆發し同攪拌室十三坪半及びロール工場十三坪半の二棟全滅し尙ほ機械室二十坪及び製品乾燥工場、再製工場等四棟半壞に歸し死傷者十數名を出したる椿事あり同工場總坪數は約千二百坪にして損害約廿萬圓なり因に死亡者は宮城定吉(三九)宮原音次郎(三六)淺井熊次郎(三)山口音次郎(一七)森本數松の五名にて重傷者は中原信太郎(一七)岩田久次郎(一九)西郷秀雄(一七)等三名にて中原岩田兩名は生命危篤なり而して三等の三名は何れも即時回生病院に入院したるが此外筅竈三國停留場前坂井醫院にて應急手當を受けたる輕傷者は杉本虎次郎立川市松以下十數名にして死傷者は何れも職工なり猶ほ同工場に執務の職工は八十二名なるが夫婦にて出勤せる者多く女工は此爆音に悲鳴を擧げ表に逃げ出したりと(大阪)

歳末の本町通り

開城の公主陵

何者にか發掘さる

開城中西面麗陵里所在高麗后皇公主陵を十二月十二日より同十五日迄の間に於て發掘したる者あり目下犯人嚴探中

漁業權を種に 大仕掛の詐欺

慶尙南道統營郡統營邑居住卓泰潤(四〇)は十月中旬より來釜し埋立新町荒井旅館に投宿し内鮮種々の人物と往復し居れる擧動不審なるより釜山警察署の刑事が注目中同人は釜山富平町四丁目崔逢五(四〇)と云ふ日本語に巧なる鮮人と語らひ巨濟島沿岸五面に亙る毛蛤田即ち漁業權所有者より經營の委任を受け四五萬圓の出資者を求めんと運動中なるを聞込みたる釜山西町三丁目二八の二細田貞次郎(四三)は崔の勸めに因り運動費として一千圓を供給すべく約束し取敢へず十一月廿十五日に金四十圓同二十七日に二百十圓十二月九日に百九圓都合三百五十九圓を卓に手渡したるに卓は其金の受取るに從ひ草梁の妓樓に登り妓生を招きて數回大遊興を爲し且つ又身分不相應の外套抔を拵へ贅澤を極め込み全く費消し本月十五日頃統營の自宅に逃げ歸りたる事實を確めたる釜山署は直に統營署に電報を以て卓の取押へを依賴し一面該漁業權の實情を調査せしに出資者の周旋は委任を受け居れる事實あるも經營者を求め又た出資金を同人に受取しむるが如き委任を爲したることなく且つ該五面の毛蛤田組合なるものは未だ許可を得たるものにあらざるに卓は巧みに細田を欺き金錢を詐取し浪費したること判明したるを以て十八日統營に於て捕縛せられ釜山署に押送し來り目下取調べ中なり(釜山)

黒鉛鑛の盜掘

長崎縣生れ當時平壤大和町二丁目古物商阪本長(三)は去る十月六日より十七日迄の間に於て平南价川郡北面鳳川里地内京城麻生音波氏の所有に係る黒鉛鑛區より三千噸時價一千圓を竊取し運搬に着手せんとせし處を安州憲兵分隊の手に押へられ内二十噸の差押へを受けたるが猛なしき阪本は其後同分隊に對し右鑛石は告訴人麻生氏と示談纏りたれば御下渡を乞ふと廿々と同隊を欺き該黒鉛二十噸を騙取したる事平壤警察署の探知する處となり取調の結果本月二十二日檢事局送りとなりたるが同人は明治四十四年五月贓物故買の罪に依り京城地方裁判所に於て懲役四月罰金百圓の處刑を受たる者也と(平壤)

一鮮人、大熊と組み付きたる儘

二丈餘の谷間に轉げ落つ

咸北明川郡上古面上洞鄭錫可馬(三八)鄭倉篠の兩名が十二月二日部落より約六丁許りなる孫谷嶺と稱する深山にて薪採中突然一頭の大熊現はれ錫可馬に飛び蒐りたるより同人は携へたる斧を以て熊の胸部に一撃を加へたるも熊は怯まず激しく同人に突きかゝり暫時格闘の後錫可馬は熊に組み付きたる儘共に二丈餘の谷間に轉げ落ちたる爲め同人は其儘一時氣絶せり是を見たる鄭倉篠は急を洞民に報じたれば即時十數名の洞民は各自手に〜棍棒斧等を攜へ現場へ急行したるに不敵なる件の熊は再度一行の洞民に逆襲し來り鄭明孫に抱きつき同人に數箇所の咬傷を負はせたるが其の間一同は激しく撲ちて遂に之を殪したり因みに此の熊は身長六尺八寸ありて六才の牝熊なりしと而して倘兩名の咬傷は何れも二週間內外にて快癒の見込みなりと

景氣付いたー地方の歳末

▽米で持つ木浦

奧筋から盛んに日用雜貨の注文

年內も餘す處數日各商人連は何れも例年の通り景品付大賣出しを開始し吳服店雜貨屬物店等は店頭に景品を飾付け旌提灯電燈を以て裝飾し日用雜貨店等は正月用贈答品を店頭に積上げ市中は何處となく暮れの氣分漂ひ居れり本年は

■棉米穀の豊作 なると稀有の高値なりし爲一般に景氣よく吳服類の如きは産地高値の爲め二三割方騰し居るに係らず賣れ行は良好にして上流向としては一般には大島結城銘仙中流向としては一般に御召縮緬縞形小紋男物として茶がかつたものが地合は地味にして一般に銘仙類最も多く喜ばれ居れり蜜柑及び正月用品の入荷夥しく例年より二三割暴騰し居るも奧筋等よりの注文多く搬出せられつゝあり其他料理屋飲食店遊廓等も中々の好景氣なり例年商業の

◆繁盛季節に入 るは十月前後にして此の季節より歳末に至る間の一般の經濟狀況を昨年の其れに比すれば移出入品共幾分減少し且つ滯貨米棉合せて其の價格百數十萬圓あれば此の方面に多少金融不充分の點もあるも他の一面には棉花米穀の相場昨年に比し三割以上の高値なれば生産者の懷合は昨年に比し決して惡しからず來春、舊正月前後に入れば米穀の出荷盛となり相當鮮人向移入品の賣行も活潑となり市況殷賑を呈すべく米穀棉花共に今日の相場を維持すべきを見込めば前記百數十萬圓の滯貨も來春に入らば其々阪神其の外需用地に於て相當相場を以て決濟し得べき氣構ひなり(木浦)

歳末漫言

—日記帳—

隣家の S 子孃大正六年の日記が本屋の店頭に出るのを待ち兼ねて買つて來たが、新しい紙の手觸りに唆かされて早く何か書いてみたくて耐らず、每日每晩表返したり裏返したりして居たがこの頃になつてとう〜怺へきれず色もゆかりのヴァイオレットの跡麗しく、未だ歳暮のお餅も搗かぬうちから一月一日元旦の明烏の聲を聞いてしまつた

安東縣の 大油房燒く

損害約三十萬圓

二十四日午後三時二十分安東縣支那町油房晉號棧の二階溫突より出火し居宅倉庫等全部燒失し大豆精燒酎石油其他雜穀類殆んど全部烏有に歸し五時三十分漸く鎭火せり損害は目下取調中にて不明なるも約三十萬圓の見込なり同店は三井物産其他日本商人と取引關係ある支那人屈指の油房なり(安東縣特電)

放火して竊盜

去る十四日午後十二時全北金堤郡雙坎面貫興里平民籾仲買人張在錫(三七)方の裏手に藁八百束を堆積しありたるに何者か之れに放火したれば火勢は炎々として風と共に住家に燃移らんとせしより張在錫の一家は打ち驚き之が消防に狼狽し居るうち何者か張在錫の室内に忍び込み手提金庫一個及び木製金箱一個を竊取し在中の金一百三十五圓四十錢を竊取し金庫及び金箱は附近の山中に放棄し逃走

走し去れり所轄金堤署よりは直ちに巡査一名巡査補二名を附近部落の捜査に派すと共に一方院坪巡査駐在所に通報したれば同駐在所よりも巡査補二名を各部落に出張せしめ極力犯人捜査中なるも未だ何等の手掛りなしと

問題となつた 太刀山

春場所を休むか休まぬか

秋の合併相撲には持病の神經痛で全休した太刀山は二十一日の晩突然飄つて來た、太刀山が春場所を休むか休まぬかは好角家間に於ける一つの大きな問題であつたが果然太刀山の

▲好角家の視聽 は渠に集まつた、往訪の記者に「私は近頃身體の工合が何うも不可ませぬ、指の方は悉皆快方りましたが七月頃から患つてゐる神經痛が却々酷く成りました、初めは足首だけでしたが飛驒で出越したのが大障つて左の膝が痛んで來る、今度は右の股が痛んで來るといふやうに段々病氣が進んで來るので每日々々盛んに暖めて居た、斯んな始末で七月以來稽古は殆どせぬも同然でしたが高松の初日の日、非常に寒かつたが久し振りに合併した出羽の海さん所の若い人達(即ち大錦や栃木山、九州山等)の腕前を試して見ようといふ積りで土俵に飛び出したが神經痛は

▲寒氣に遭つて は堪まらない忽ち烈しい痛みを感じたので直土俵を退いたが其れ以來更に惡くなつて終つた板垣(伯)さんから塲所が近いから早く養生して休むやうな事をせぬようと御手紙を下すつたが何しろ稽古が出來ないので仕樣がない、之れから治療に掛つて早く快方れば好いのですが……」と語る太刀山の顔は稍憔悴して見ゆる、身體も少し小さいやうだ、元來相撲に非常の念を入れる人だから若し此樣子で稽古が出來ねば春場所は休場するに遊びないと思はれた(東京)

自動車を盜む

京都府生れ當時住所不定の井田寛三(二八)は豫ねてより其筋に於て監視中なりしが二十二日午後六時半頃仁川新町一丁目某自轉車店に自轉車一臺を賊價にて賣りたる事新町駐在巡査の探知する處となり同日山口屋に宿泊中を逮捕し目下取調中

灯ともごろ

▲毎度婆族を引合に出すが花月のそのと小菊さと女將の三人が東京へ歸る客を送るべく二十三日の朝寒いのに南大門驛に驅けつけて水原までの二等切符を三圓出して三枚買ひ込み▲列車に乘り込んで見ると送つて來た肝腎の客の姿が見ゑないので車內を廻つて探し歩く內に發車したが結局乘つて居ないと決まつたので一同狐に魅まれたやうな顔をして龍山驛に降りたが▲いかに婆族でも年末丈に三圓の犬死は惜しかつたやうなり▲此程新らしく京城の人となつたさる會社の某重役が千代本の女將とは相識とあつて或る座敷での四方山の昔話の末、例の俳句が出て『蛇櫻さはればこはし命がけ、千代』と單り散り殘る葉櫻の强さを示せば▲男連も負けては居らず『蛇櫻手折るもおそし春の暮、古川』をやり返へし續いて『年の瀨に批判とり〜蛇櫻、たけ』『蛇櫻誰が手向なん餘勇ありとうれい』などと大に俳合戰を鬪はしたさうだ

太郎、岩宮才吉、西野たみ、國分案、同庭、中村、同なめし、同國、吉本末吉、土井惠四、宮城ます、村上勇助、嵐玉設、伊藤一郎、星野一、國岡……（二十六名）……

天氣　北又は西の風晴　十二月廿六日

新年號盛裝して出づ!!　東京本町 博文館　賣捌 全國書店

少年世界
新年附錄 少年活動双六　小波案 林風畫
本號の呼物
突飛太郎（お伽小說）……小波
一夜明くれば（少年物語）……葛原
秘密日記（少年實話）……奧野
郷里の正月（少年物語）……他見男
大蛇祭（お伽劇）……小波
△珍奇な理化談
△疑問の寢室
△蛇の身の上
△怪盜か海獸か
△森林王
△怪賊カゼツト
△東郷大將はどこが偉い
定價十六錢（特別大增刊）

少女世界
新年附錄 少女學校家庭双六　文子 合作
主なる讀物
辨天城（お伽小說）……小波
三つの心がけたい事……沼田
秘密の函（探偵小說）……笠峰
新しい年まで……岩崎
雪子とお炭（少女對話）……小波
△夢のお人形
△年と共に改めたい事
△七年ぶり
△十五のお正月の喜び
△半鐘の音
△裸體で駈廻つた學者
△古塔の秘密（少女物語）
定價十六錢（特別大增刊）

幼年世界
新年附錄 幼年巳歲歷史双六　小波案
評判の記事
夢見船（お伽噺）……小波
ポチのお正月（お伽噺）……新井弘城
海蛇次郎（海上奇譚）……宮地竹峰
幼年太閤記（幼年小說）……武田櫻桃
△英國の勳章
△軍艦幼年物語
□口繪（三色版）
△お登巳の宮
△福引（幼年小說）
定價十二錢

幼年畫報
新年附錄 子供遊び双六
特色
△繪柄が珍しく △色彩が美しく
△趣向が新しく △お噺も面白い
定價十二錢

●鈴の音尊く 聖燭搖ぎて

佛蘭西教會堂の聖誕祭の夜

遍天の榮光遍地の平和、二十四日の佛蘭西教會堂クリスマスはげにも

◇神々しき 極みであつた、聖堂は尖塔高きローマンカソリックのカセドラル、彼の崇嚴なるゴシック式建築の穹窿形の天井に數限りなき燭灯の灯のきれ／＼も尊く、式は夜半の十二時過ぎより開始されたり

◇清き身を 神に捧げまつれる珠數に白紗のヴエール被れるみめ清き信女の姿、そこに敬虔の念と崇嚴の氣は張りたり、折から高き圓屋根に打ちふるひて童貞の孤兒の少女の讃美歌と神なしき神父の唱ふる羅典語のコーラスぞ始まりたり、と見れば高きステインドグラスの窓よりは青白き月光の流れ入りて被衣の人は聖地ナザレの行者とこそ思はれたり、斯くて信者の多くは祭壇の下にひざまづきて聖體拜領の悦びをうく這は主がパンの形と色の中に在すの意によりて

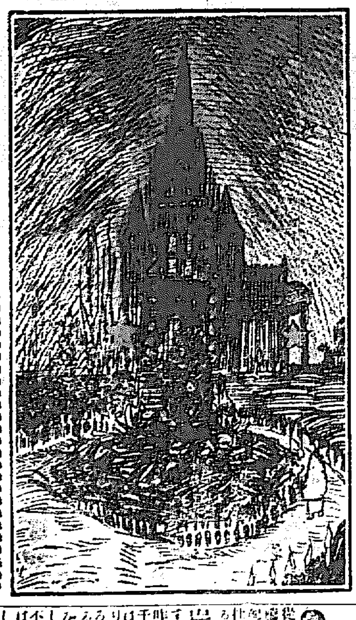
◇神父の手 づから授くるパンの小片を受くるなり、式の了れるは夜半の午前二時、京城の多の夜は更も靜けく星光また雨の如くきたいてあつた

◇春の室内を飾る櫻草

日を逐うて寒の降るのが激しくなり、寒氣も益々加はつて來るので、室内を飾る西洋草花、又は球根草及び宿根草の根分けしたもので、そろ／＼新芽を出して來て、鉢に移ける盆栽の手數を要する時である、先づ一月元旦から室内を飾らうと云ふ櫻草即ちプリムラローズなどは、早咲の種類で蕾を持つて居るのもある、一體此の草は年々化合の技術が進み、夫れと共に花の種類が殖ゑて來るので數十種あるか數へ切れない、中には珍しいものもある、十月中に根分けしたもので既に花の咲きかけて居る早咲のプリムラシチンセス種もある、又蕾許りで元旦を待つて咲き出て見事として居るもある、此の草花は餘り寒さを嫌はないから、露地に置いても差支ないが、夫れでも早く咲かせよと云ふには、硝子張りの室内か、又は日當りのよい室内に入れて、温めて置くと必ず一月初めから花を見ることが出來て、フレーム又は溫室などの必要はない、最も手輕で素人向きの花である

星美しき明治町の丘上、京城の夜の空にうちふるふ鐘の音と共に正面祭壇の燭臺に燭灯の灯影ゆらめけば尊とき十字架上の聖像には

◇檀欒の香 ぞ燃え出でつ純白き神父の捧ぐる香の色に聖とき頌撒の禮拜は始まりたり！げにも尊き歌讃の姿よ！赤き衣に白紗のマント羽織る小童の持てる銀の鉢アイコンの



聖誕祭の夜　二十四日のフランス敎會

●盛んなりし 平壤の聖誕祭

平壤には外國人の經營してゐる敎會が多い、クリスマスは二十四五兩日大抵學校で行はれる殊に二十四日は日曜日に當るので重なる敎會では同夜行つたのが多い南山町のメソヂスト敎會はさすがに創立も古く信徒も多いので數日前から準備に着手し會堂内は金紙銀紙に映ずる蠟燭の光り神々しくクリスマスツリーを背景として數十番の無邪氣な可愛い唱歌や對話や合唱があつた中にもプログラムは一部と二部とに分れて一部は午後七時から嚴肅な祝賀式があり二部は日曜學校の生徒を中心として醫の生れた坊ちやんや丸髷の孃さんまでが歌に對話に劇に熱心に耶蘇の降誕を祝したのであつた瑞氣通りの組合敎會に於ても同樣の祝賀式があり餘興として滑稽な活人畫や筑前琵琶等があつた又日本キリスト敎會は信徒の數が少いので二十五日夜大谷判事宅に於て家庭的な集會をなす由にて目下準備中である兎に角平壤は西鮮に於ける耶蘇敎の最も盛なるの土地だけに二十四五の兩日は此種の會合頗る盛である（平壤）

贈答品には ちゝぬ銘仙

◇恐るべき 新威力

歐洲の大戰に現れた新兵器

兵器の善惡は延いて國家の興亡に關する大問題であるが故に世界各國は皆競ふて之れが研究に沒頭し新威力を發明するに腐心して居るが此結果は既に歐洲の大戰に現はれ

▲最新の學理を 應用した恐るべき威力を有する新兵器が盛んに使用されて來た、今其の主なる物を擧ぐれば四十二珊砲、裝甲自動車、手榴彈、銃榴彈、迫擊砲、投下彈、火焰放射機、毒瓦斯及毒瓦斯彈、催淚彈、燒夷彈、潛望鏡並に照準器を有する小銃、空雷等であるが其の中の投下彈は航空機より投下する

▲各種彈の總稱 で分類すれば鋼箭、爆彈、燒夷彈等になる、鋼箭とは其一方の尖端を鋭くした鋼桿を言ひ長さ約五寸位之れを機から雨のやうに投下するのだが威力は千米突位の高空よりしても地上に達すれば恰も小銃彈が七八百米突位の距離で命中した時と同樣の効果を奏するのである卽ち乘馬の人の頭上に投下されゝば

▲頭から身體を 穿貫し尙馬の胴體を貫くといふ素晴らしい力を持つて居るのだ迫擊砲は各國で夫々異なる名稱を附し塹壕臼砲（トレンチ、モーター）爆彈投射機（ミーネン、ヴエルフエル）なぞとも稱へて居るが此砲は日露戰役の際我國が初めて使用した物で構造は大砲と大同小異唯稍簡單なるに過ぎぬ彈丸は裝塡せずして尾管のみを

▲砲口内に入れ 火藥の壓力に依り發射するのだ獨逸の五十三粍迫擊砲は口徑一寸八分彈量卅三貫最大の物は口徑八寸もあり目下塹壕戰で遺憾なく威力を發揮して居る、此は火焰放射機だが之れは石油、輕油の如き燃液體をポンプ作用で放射する際出口（ホースの尖）の點火裝置に觸れしめて火燄となし

▲人馬等を燒き 盡すのである此の攻擊には未だ防禦方法が案出されないので各國共非常に苦心して居る、最も興味深い物は催淚彈である、此は彈丸の中へ眼を刺戟する藥品を入れて發射するので爆發すれば該藥品は直ちに氣化して敵の眼を襲ひ止度無く淚を流さしめて數十時間は

▲全く眼を開く 事が出來ない程の目に遭はす、多分アセトンの化合物だらうと思はれるが直接に人命を絕たない迄も此厄介な物は無いのだ、空雷は空中に於ける魚形水雷とも云ふ可き物で飛行船から敵の飛行船若くは地上の營造物を破壞する爲に使用されるが其發射の光熱は飛行船の中から恰も小さな飛行船が飛び出して行くやうである（某將校談）

商況

東京株式特電
二十五日　受渡準備に付休會

東京公債直取引電特
二十五日前場（前日との比較）
[illegible]

深川在米特電
二十五日前場
五分	八二、二〇	
五分	八三、二〇	
四分	九〇、〇〇	
五分	九四、〇〇	

東京期米特電
二十五日前場
内地	四二、九一	
朝鮮	五六、三七、四一	
	一三、〇二	
	四六、二二	

大阪三品特電
二十五日前場
二月限	六六、二五
	六五、六二
	六五、六一
	六五、二一

大阪期米特電
二十三日前場
十二月限	一六六、九五
一月限	—
二月限	—
三月限	—
四月限	—
五月限	一六五、九〇

下關町米特電
二十五日前場
中期	一六、〇四
先期	一六、三五

雜報
廿五日前場　四國双方手仕舞に持合ひ

	中限	先限
寄付	—	—
高値	—	—
安値	—	—
止め	—	—

●石炭空前の拂底 炭殆ど補充の見込立たず 全鮮各地とも貯炭殆ど缺乏

從來輸送力不足と運賃高のため漸次缺乏しつゝありし石炭は滿鐵の貨車配給はれざると九州炭の輸入全く杜絕したるより最近の拂底は實に空前とも云ふべく昨年度は一萬噸の餘裕ありしも今年は八千噸乃至一萬噸の需要ありて到底供給し得ず貨車配給の不足と輸送力不足のため各地の需要は大部分に達し得ず本年度の貯炭は殆ど缺乏し

▲輸入全く杜絕 九州炭の輸入全く杜絕したるは撫順炭の注文あり漸く撫順炭のみに賴らしむるが滿鐵側の貨車配給を困難ならしめ輸送行はれざるを以て鮮鐵側より貨車を給し安奉線を經て

▲着荷は僅に小口 に過ぎず引續き到着を待つ狀態なるが當業者は專ら

▲當用の補充 に努めつゝあり同業者は協議の上近く滿鐵に向け貨車配給方を出願する筈なりと京城にては十一月に一圓二十錢騰りて小賣の値段は十二圓十錢なるが最近又

▲第二回の値上げを行ひ 一圓五十錢方騰貴す、九州炭は十四圓見當なるも品なく今後入荷の見込無く遂には全く品切となるやも知れずと憂慮されつゝあり

●沿線正米跳返す 安値迄引下げしが各地の乘りにて十一圓割れ

過日來京釜線地方の正米狀況は輸送機關不備の爲め他所買人の商談運ばず各地共に停滯米は漸次に增加の傾向を示し持主賣急りは自然的に人氣を軟弱に陷らしめ數日前には烏山沖の格にて十一圓割れの安値を唱へしが各地共貨車の配給も大に餘裕を生じ來れると共に各地に於ける在米の多くは仁川其他の方面より續々引取られ上値を唱へつゝあり

南大門の廻穀

▲二十四日
天安玄米	一四一叺	全義籾	二二〇叺
天安玄米	一三三叺	全義白米	二三〇叺
天安玄米	二九四叺	全義白米	二六叺
平澤玄米	四〇叺	平澤籾	五四叺
平澤玄米	二八四叺	平澤籾	一九九叺
烏山籾	二九九叺	烏山白米	一七叺
烏山白米	二八七叺	全義白米	一七七叺
成歡白米	一二八叺	井里白米	一二〇叺
西井里大豆	一八九叺	烏山白米	一六七叺
富平籾	三六〇叺	富平籾	四〇七叺
全義白米	二六叺	烏山白米	九七叺
淸安綠豆	二六叺	烏山綠豆	六〇叺
軍浦籾	五六叺	烏山籾	七七叺
平澤籾	九九叺	平澤粒	九九叺
平澤籾	一七六叺	平澤籾	七九叺
護政府大豆	一三九叺	平澤白米	九九叺
安養籾	五〇叺	沃川白米	八一叺

▲二十五日
西井里玄米	二八〇叺	全義白米	四一叺
全義白米	三〇叺	木浦胡麻	五一叺

京城正米

沿線正米跳返しの傳へ地廻り又安値に賣崩さざる爲め商内も格好品のみ買ひ見送る位にて多く御見送りの商狀なれば氣配も先づ持合といふの姿なり

●罐詰類ヂリ高

罐詰類は容器材料の鑵力高と魚菜原料の騰貴せるものありて内地相場は總じて高値を報じつゝあるも鼓許正月用品を除く外需要閑散なるを以つて最近の内地高影響を蒙むり居れるもの

は松茸筍類にして昨今に十圓筍は翌年十圓筍に小賣一等八圓大一罐六十三錢に騰貴す

●兩者地位轉倒 白絞油が騰貴して胡麻油は見當なるに比すれば値開き

白絞油が騰貴して值開き七十三圓見當なるに比すれば值開き少きを見るのみならず胡麻油は製造期了りて需用少く目下十圓見當落花生油は支那輸入杜絕せり

圓見當に過ぎず製油業者は支那産を先ぐるも內地には支那ありて他に輸出の見込たゝず依然鮮人間の消費を待つのみ之を內地輸入

籾買入
京城南米倉町　龍山精米所　電話一二四番

●油類の近況 植物油胡麻油

は昨年同期に入りて需用また多からんとするも本年の原料作柄惡しきと廻者少なきとに因りて胡麻一石十六圓より二十一圓て高値を示しつゝあるが一方油價は石七十五

●約四十錢方の騰貴

ご最先安に上向歩調を辿らんとするもの如し來る二十八九日頃には多少賣りたる入荷あらんさの豫測もあるが果して如何にや

●紀州蜜柑暴騰

蜜柑は貨車不足の爲め産地より年内積出不能の趣を報じ越したる事は前報の如くにして荷止め以前に發送したる分は其後續いて弗々入荷ありとは千箱以上の廻著あるを普通とせる時期なれば元より供給の不足たるを免かれず從つて昨今の市場は在荷頗る拂底を告げ居ると共に相場の急騰を促がし今朝の唱へは二圓二十錢見當にて此一兩日來に

外に過ぎず 平均僅に一二三百箱内

●石油値上げ 石油は需要手

締を迎へたると外油の强硬なる態度に過般來より屢々第三次の値上げを發表され一時調和說により立消ねの模樣にも見受けられしが會社側は注文殺到して遂に今回物に依つて小刻み的の値上げを爲すに至り二十五日より建値松函五圓五十一錢勝利五圓三十二錢を發表し〇五錢方を引上げたり

●急遽五六十錢方の暴騰

貨車の餘裕を生じたるに反し發送の荷物なき有樣にて一時非常に割安を思はしめし同地方も此一兩日之が爲め俄然人氣を跳返し今日にては在來值の乘十一圓四十錢を報ずるに至り

暴騰を齎らすなど一時同方面の安値に注目せし當地の同業者も今日にては再び不出合ひを唱ふるに至れり昨今は仁川筋より相當同方面に買進み居れる模樣なりといふ

仁川現物市場
平澤玄米	五四叺	鎭南浦籾米	四〇叺
仁川籾米	一九叺	西井里籾	一九三叺
平澤米	一八九叺	西井里白米	一六叺
平澤白米	一六九叺	全義籾	八二叺
沙里院綠豆	二二四叺	平澤叺	二一八叺
馬洞綠豆	二六叺	平澤白米	六六叺
平澤白米	六七叺		

▲籾入津二、三千俵 氣配は別段變らざる唱へ
▲正米入津三百餘叺 氣配變らざる人氣
▲大豆入津千餘叺 氣配變らざる唱へ

釜山穀物市場

▲正米（手堅し） 數日來下向き一方なれば各商地よりの出廻り品殆なく賣り物割合稀薄にして賣人も品薄を唱へ容易に手放さず又買人は附値安く、爲めに賣買双方に於て懸隔甚だしく只割安品のみの手合せにして氣配は一ば手堅き趨勢を示せり
▲大豆 本邦不味の爲め捗々敷取引もなく見送りの商狀なり
諸出來高千三百八十九叺、中米十俵玄米千三百七十一個

期米
仁川海岸町　米豆取引所仲買人
（平）平田商店
電話一五八長一五九　電略（ヒ）又（ヘ）（ヒラ）

生魚市場

釜山積出し盛を加へ内地より鮪木浦鯖等の鯛等多くの入荷ありシビ珍品され鍍高し就米近くにつれ市場一般に活氣づけるも殊盛んなるは二十七八日頃なるべく今日までの景氣は昨年同期に比し大差なしと

タイ二〇、アマダイ一五、紅小ダヒ一四、チヌダイ一三、サワラ一四、スマキ六、ヒラス一四、ブリ一八、目白一六、ヒラメ七、カレイ九、アナゴ八、サバ六、モエビ二四、ニベ一一、シビ五〇、サヨリ一一、タコ一〇、甲イカ一一、サゴシ一五、カキ一一、ヤス一七

仁川期米

▲二十五日前場 天候晴 寒兵
前場寄十六圓三十錢　大阪天候晴
天前寄十六圓三十一錢 一昨止りより五錢
五錢と一昨止りより五錢高の入電で一節二十六錢の移りにて一地十二圓（以下[illegible]）

▲二十五日前場 當限川來不申
先限	十二圓四十錢	四十錢
中限	十二圓三十三錢	三十三錢
	三十三錢	三十五錢

出來二千六百石

市場零聞

▲前場釘付け 天候晴 今朝の寒暖
大阪の小堅き移りにて十二圓四十錢より目立ちて買向ひたると今の其他より新規に投げに賣物現はれたるも一面丁度と寄付たるが今の手仕舞に一錢と跳れ三十九錢と辷り四十錢丁度と散會を告げたり市況は年末に際し最早餘す處明前場のみとなり居るより大阪勢手仕舞に殆んど報なきと

（利）森仲買店
仁川海岸町三丁目　米豆取引所仲買人
電話　店用長九五　本宅　八六二〇　三三二番

▲釘付同樣の成行を示したり
▲前場の手振 商内買直なる
方今六千餘石の賣買ありて…各五千餘石同四千…千餘石の賣買ありたるを注目を惹いたり
▲全能く賣る 今前場同店よりこの事…一千餘石の買ありたるも注目を惹いたり
▲（イ）能く賣る 前場同店より
賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事一兩千餘石の賣ありたるも注目

▲（ヘ）能く買ふ 前場同店より
買たる玉數六千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり
▲今の大商内 前場同店より
買りたる玉數六千餘石買たる玉數五千餘石に上りたりとの事
▲（ヤ）の大商内 前場同店より
賣りたる玉數五千餘石買たる玉數五千餘石に上りたりとの事
▲平穩納會乎 本年末に際し市場の形勢は一向展開するの模樣なく
硬派は依然見送り居るに反し 軟派 筋は小口の投げ及び新規正米賣など手仕舞買退き居るより手戻りは又賣り直し來らんとするの手振りなると押目は透さず喰ひ退かんとする等何れにしても買方主力筋の見送り居る場合なる大相場は保合の外なかるべく斯る事情にて大納會は平穩ならんかと

▲春相場如何 本年も明前場を以て大納會を告げるに至つた經濟界の趨勢も亦來るべき春相場や如何なる經濟說も以つて顧慮するなるか案より知る所に非ざるも內地の事情は株界の大暴落を演じたり斯る恐慌的相場の大暴落が忽ち米界に影響し來り貿物の向つては新規に買向ふ手口なく殊に押し詰つての產合なる丈一陽來復の新春を以つて買ひ來るならんと思はれ目先尙投げの續出に不勢の成行を示せしも結計き來春は之が反動を來すならん當地も目先正米の大停滯に頭重き成行を示し居るも新春に至つて人氣一變するならんとは强氣筋の觀測である果して如何

（日）仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話二八二番　二八三番

仁川米豆取引所
二十五日の二月限

前場		平均値段	
寄付	十二圓四十錢	一節	十二圓四十錢
止め	十二圓四十錢	二節	十二圓四十錢
高値	十二圓四十錢	三節	十二圓四十錢
安値	十二圓三十九錢	四節	十二圓四十錢
出來	二萬四千五十石	五節	十二圓四十錢

賣買取組高
十二月限	一萬八千百石	納會
一月限	八萬八千百石	
二月限		
二十三日後場	一三四、八〇〇〇	前日と比較 一高

贈答品小賣値
贈答品小賣値△鰹節九本木箱入四圓△同七本入三圓△同本入二圓同袋入二本より五本八十錢より二圓迄△淺草海苔時上鑵入百枚二圓二十△同一圓二十五錢△同一圓△椎茸最上百匁一圓五十錢△鶏卵先島献上十二枚一圓五十錢△干數の子上玉百匁入一圓△味醂△若布五合鑵二つ合一圓三十錢△たんざく海苔三瓶箱入一圓△最上一二貫目二圓△同中上一圓八十錢△上一貫目二圓△鰹節鮭子北海道三百目一圓三十錢△千枚漬六百五十目入一圓十五錢△手柿大玉七十五錢△同中玉六十錢△蜜柑小玉五十錢△同一箱一圓

食料品小賣値
中品及び中品以上百目に付
カズノコ	二五	シイタケ	一〇
ゴマメ	一八	アチノリ	一
ボーダラ	一七	カツチブシ	五
スルメ	五	ギンナン	五五
ズシコブ	六	メケノコ	七
イリコ	七	マツタケ	七
シロコブ	四	カムメ	六
アラメ	二	十六豆	二
タマゴ	四	タラダ	七
サツマ豆	一	ゴマ	二
ケンドー	三三	カタクリ	五
寄干	五	サガ	一
コノヤダ	九〇		

東京 竹内製釜屋 機械的製作 新形ベント式 釘本藤次郎本店 京城本町二丁目 電話四五〇二七〇口 振替京城二五六 價格表送呈

瀬戸皮膚科外科醫院　旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士 瀬戸潔　診察夜九時まで　（電話二四九八番）

仕拂通知　本月仕拂二十六日午後四時三十分限り　毎月十日午後六時より　普通仕拂は例の通り午後六時より毎日　七時半迄臨時仕拂は七時迄自今南大門外販賣部にて仕拂は不致總て工場事務所に於て仕拂す　諸機械製作鑄造販賣　龍山練兵場前　中根工場　電話一〇四一〇五・龍二五六番

（又）相馬榮治　東京米穀商品取引所仲買人　東京市日本橋區蠣殼町一丁目一番地　電話浪花長二四六〇・二四六一・二四六二・二三九九　登録受信略號（トウケイマタ）　營業案内送呈

御禮　今回仁川米豆取引所に於ける本年度商内高最多數を以て壹等賞銀盃壹組を贈與せられ候光榮に浴したるは偏に御得意樣方の御厚庇の依る者と厚く謝し奉候尙來春よりは一層勉强を旨とし各位の御便利を計り可申候間倍舊の御引立を願ひ上候右乍略儀以紙上御禮申上候　敬具　大正五年十二月二十六日　仁川米豆取引所仲買人　（ア）廣澤正次郎　店員一同　電話六五〇一六〇　四六二三

板硝子各種 英國製壁紙 入荷　釜山本町（上）村上商店　電話五番

月刊商報發行送呈　釜山本町三　近藤商店　電話七六八・振替三五八　日鮮雜貨 鍋釜金物 卸問屋　青竹 入荷 釜山港 島末 材木店　洋酒罐詰 銘酒 石油 煙草 卸問屋 釜山辨天町 しワとコ屋 （月刊物價表發行）　外內 雜貨卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八二〇番　味の素 朝鮮特約店 洋酒罐詰商 あづまや商店 釜山辨天町　雜貨卸商 釜山大廳町壹丁目 明治屋本店 迅速 確實 薄利 誠實取引 明治商報送呈　釜山 著名商標 カーバイド ダイヤ印燒酎 アルコール 福榮商會 釜山

內科 小兒科 京城日出小學校前 入院隨意 多々見醫院 電話九四〇番

比較は最良の選擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四八一 四九五 振替京城五七番

犯罪 窃盜罪にて懲役七箇月に處せ前科者なるが去る陰暦十月十一日晝刑務所 李玉女（二七）が行商品白系染て玉女はせめて物品なりと取り返さんものと黄方へ赴く途中老安面大川…其儘自宅溫突內に數日間監禁し玉女が所持金十九錢を窃取…事迄判明し身柄は書類と共に檢事局へ…數日間…月以來數回數箇所にて賭博を行ひし…

…拘留…吉田保…川本政…一郎、同一郎、今村千枝子、同茂雄、同勝子、三島正、發由かれ、林長…野澤文市、佐野庄次郎、田中清三郎、森川正任、…

日本海西部…北西風…十耗…進行方向…東…警戒區域…強氣溫急降す可し…南北道黃海道京畿道忠淸南道全羅南北道の沿岸

報 珍 九し

…京城…日出…二十六日…

明君道中記

第十六席 田邊南龍口演

駿河國駿機山に於て春日局家康公にお目通りをいたして江戸表の顛末を訴へたる處却つて御不興を蒙り、御氣色を損じられたが、素より賢明の婦人でありますから早くも家康公の心中を察し竹千代樣の御爲に宜きことゝ思ひまして、そこ〳〵に御暇を願ひまして伊勢路を指して出立をいたしました、此方は家康公それより終日鷹野を催して駿府城へお歸りに相成りましたが、其の翌日本多佐渡守正信を御前へ召して 家「コリヤ佐渡、予は少な思ひづいたることある故急速江戸表まで罷越すによつて左樣心得よ」と被仰つたは他でもない、昨日駿機山にて春日局に遇つて江戸表の事件を聞きました故江戸に參つて三代の跡目を確と取極めて參らうと思召したのでございます 家「醫匠の者十人許りを選み供申仕けるに依つて其の支度をいたせ、又先觸れには及ばん、予は突然江戸に參つて役人共に申しきける事もある」 佐「畏りまする」とお受けはしたが、前觸れをしてはならんと云つても左樣なことが出來るものではございませんから直に大御所公慨に駿府を御立ち江戸表へ御出に相成るにより御道中宿々大名旗下代官等不都合無之樣警衛仕るべしと觸れ渡した、其故宿々では其の事を承はつて内々出迎への支度をいたして居ります。家康公それとも心附きませんから翌日の未明に僅二十人に足らざる御供を從へて駿府を後に江戸にお出になりましたが、恰度御道中が三日半前後合せて五日、其日の正午過に糀町半藏御門よりして吹上の御庭續きに御本丸に入らせられるといふ御觸れ出し、突然に入らせられたのであるが早くも阿部備中守安藤對馬守の兩人より此の事を充分に達しありますからそれ〳〵お出迎へに及ぶ、御玄關に御平伏あらせられる御幼君竹千代樣御附添井讃岐守御介抱申し上げて、御次男國松樣御附本多上野介正純同じく若樣を御介抱いたして此も低頭平身して居ります、家康公御覽になつて 家「オー

いたしまするを、係りの役人は申すに及ばず總て登城いたして居ります大小名悉く御廊下に平身低頭して居る其前を通行いたして大奥に於て將軍家と御對面さいふのでございますから直に道を大奥に取つて御進みあらせられる、始終竹千代樣がお手を取つて此も亦家康公と一緒に大奥にお入りになつた、大奥の有樣はと申しまする天女が天下つたる如く、女護島へでも著船したかと思ふばかり、綺麗結構目を驚かし龍宮の乙姫の居城かとも疑はれ、正面には御臺所侭かに兩手を突き、其他一統の女中まで百餘人綺羅星の如く皆一同御出迎へをいたしましたから家康公御覽遊ばして 家「あゝ綺羅美やかなる處の花盛を初めて江戸へ來て見ました」と愛嬌を振りまきながら據けまして、御附の衆が御褥を二枚別々に設けの御褥の上に着坐あらせられる、正面に竹千代樣次に下つて國松樣、右御褥を設けると家康公に於ては何とするかと思召しで熟と若君達を御覽なされて居りました。

愈々寒さ來れり 冷性で御困りの御方は― 津村本店の ▼人參エキスを 御存知無き御方でしよう
京城本町一(電話一四八〇振替三五一) 津村兄弟商會本店

院長 醫學士 森 定吉
□內科 □小兒科
京城本町三丁目瓦斯會社向側 芙蓉醫院 電話二六二三番

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話西一九番

曆 十二月廿七日九星 舊十二月三日 戊戌 木 今 入 白 晨 開 友引
▲八白 筋道のたゝぬ事有る日新事見合 京方は [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 自他の事有る日新事手控へ [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 他の爲を計て笑け [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible]

ひみつ病
男の生殖器衰弱や短小、包皮等は專賣特許の真空療法にて自宅で願る手輕に治る ハガキで東京京橋本材木町三ノ廿五東京新療法研究所又は大阪北區北森町大阪新療法研究所に申込めば非賣品圖入説明書を無代進呈す

運轉手
月收内地五六十圓位海外二百圓位を明的愉快の職業で需要無限の自動車運轉手●となり都會に海外に成功を望む者は直に申込まれよ自習法雜誌及規則書は呈す 東京市京橋南紺屋町 自動車協會

ホーカー液 ▽懸賞 當選發表 なぞく

先般募集仕り候懸賞謎々左の通り當選發表仕り候
一、同案は解き方の巧妙なるを採り申し候
一、同案同文句のは先着順により申し候
賞品は十日以後に郵送附申上ぐく候

東京神田和泉橋 ホーカー液本舗 堀越嘉太郎商店 懸賞課

▣課題 ホーカー液(とかけて)

▼一等(五圓貯金證書/外一枚宛)十名
むれ千鳥 心は水際立つてパツと目につく 京都 吉田 愛子
金庫 心は火(日)に燒ける憂ひなし 鹿兒島 原田千賀子
髭子の至藏 心は惡い著母(容貌)をよくする 赤坂 須田 白雨
日記 心は毎日つける 本郷 中川 なか
近江八景 心は琵琶湖(美はこの)内に含る 埼玉 大塚 孟郎
匿名の慈善家 心は表立たせる心掛が床しい 兵庫 小田 竹舟
紺絣 心はつけると薄紅と上品で奥床しい 山形 渡邊ますゑ
隱れたる慈善家 心は目立たずに美くしい 吳 寺永 正夫
小野の小町 心はいつも美人の引合に出る 本郷 松下 勢治
村上義光 心は錦(肌)を守る 石川 芝山 正英

▼二等(上等反物/一反宛)二十人
▼熊本 川上清▼愛知 栗本菊三郎▼東京府 內藤フミ▼朝鮮 森山貞雄▼大阪 大西所歩▼京都 小西愁雨▼東京府 小野清子▼千葉 佐藤寛▼東京府 新倉金重▼三重 山本晴▼滋賀 杉原龍子▼京都府 和田信▼赤坂 北村みと▼埼玉 園様花子▼兵庫 正木歌榮▼宇都宮 鵜殿トク▼岩手 高橋波留子▼東京 山口きん三▼千葉 岩井重雄▼神奈川 原義幸

▼三等(ホーカー化粧品/一圓箱入一個宛)四十人
▼東京府 鈴木開吉▼京都 順子▼岡山縣 臨時ツル子▼千葉 國部香夢▼弘前 園野清子▼芙城 豚田行一▼芝 石井せん▼長崎 跪秋げい▼福島 水野しさよ子▼石川 山上曾登子▼青森 今村直子▼東京府 石川與三郎▼兵庫 米田貞▼茨城 濱田やす子▼四谷 安齋千代▼鳥取 杉浦さと▼奈良 久保義雄▼兵庫 三田市郎▼靜岡 天野靜惠▼長野 西村茂樹▼埼玉 了けの▼本郷 早川イタオ▼本郷 坂井かしく▼鹿中 佐藤きよ子▼滋賀 塚石一五郎▲高崎 齋藤榮一▼大阪府 吉仲とく▼三重 鈴木喜吉▼京橋 野々山巻司▼橫濱 大槻俊子▼青森 ひろ子▼大分 佐藤定雄▼京都 葉公▼大阪 澤田照子▼京都 松尾太郎▼橫濱 小橋貞▼芝 吉川ヨネ子▼京都府 竹岡こう子▼日本橋 早川誠野▼青森 田中登

▼四等(ホーカー化粧品/五十錢一個宛)百人
▼五等(ホーカー美髮液/小瓶廿錢一個宛)二百人
▽ホーカー懸賞發表

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約代理店
○十二月廿五日より歳末大寫眞提供 ○賞寫九州名所 ○滑稽あわてた運動隊 ○喜劇新なる空氣 ▲日活事務所提供 ○新派悲劇「浮き沈み」全三卷 [illegible] ○泰西悲劇 [illegible] ○舊劇旗本奴男俠客 [illegible] ○寫眞非常に長尺に付き正六時開幕 早々御來館願上候

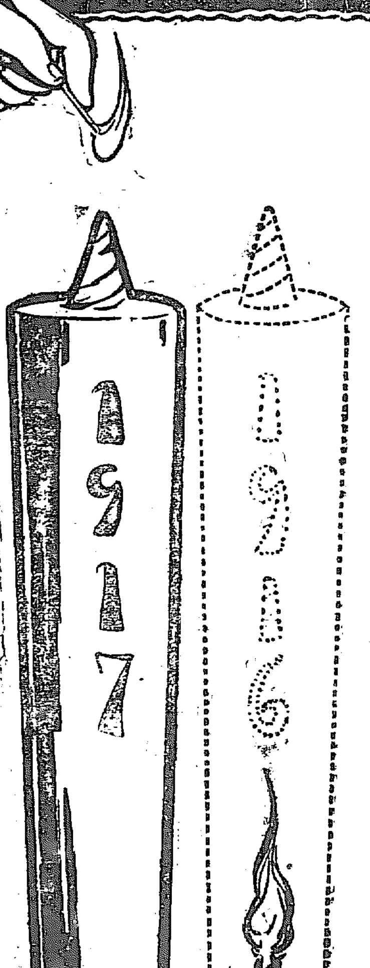
浪花館 明治町 電話二六〇
新時代の浪花節吉川今勝一行
讀物 [illegible] (吉川今勝) △大和魂 (吉川今勝) △牡丹燈籠 △苦心の探偵 △快傑傳長 (吉川容堂) 講一席(今勝口演)

黃金館 早川直營 電話二六三七
十二月十五日より [illegible] 忘年特別大興行 [illegible] 第一探偵活劇ノルチスクフル [illegible] 社作「百萬圓のダイヤモント」 [illegible] 伊達の仇浪 [illegible]

質 京城黄金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所 (電話六二九番)

越年の用意 數ある中で御婦人に 何よりも大切なことは 婦人良藥 中將湯を召上り 今年の内に病を治し 壯健になつて新しい春を迎へる身の養生

婦人衛生手引 御申込次第無代進呈
本書は月經時の手當を始め、婦人病の完全なる豫防法、產前產後の攝生法等を知名の專門醫學士が親切平易に述べられた婦人必讀の寶典で送料として郵券二錢を添へ御申込みあれば無代進呈致します



主治効能
●子宮病子宮內膜炎にて白帯多く前屈れ又下腹腰足の引つり痛む人
●婦人神經(ヒステリー)血道にて氣鬱潮高ぶり物を苦にし夜眠れず
●月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
●逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え●息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
●十七八歲になりて月經なく血ぶとり又た月經の前後に下腹痛む人
●白帯赤帯帶下多く顏色蒼白き人●冷症にして難產流產の癖ある人
●產前何となく常ならざる人、嘔吐產後古血の滯り、或は日立惡しく
●此他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〳〵と惡しき人

■中將湯は世界到處の藥店にあり 市內は配達無料

定價
二日分 二十錢
四日分 三十五錢
一週間分 六十錢
二週間分 一圓
三週間分 一圓六十錢
五週間分 二圓五十錢
十週間分 四圓五十錢
廿週間分 八圓五十錢
▲加減與あり容器詳しく御申込あれ 一週分 七十五錢 四週分 二圓五十錢

津村順天堂本店 東京市日本橋區通 [illegible] 電話本局六二番 六三番
津村順天堂支店 [illegible] 電話南二十五番

汽車 [illegible]

京城日報

廿六日朝刊（夕刊と合せて八頁）

京城太平通一丁目　發行所　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介

鑛業の現況（四）

▽昌城金鑛

本金鑛山は平安北道昌城郡東倉面外五面に在り鑛業人はアメリーヰッチ、ペーデシレー、デルメールにして大正五年一月より九月に至る鑛山收入は百六十二萬五千百四十九圓八十七錢なりとす

△採鑛及製錬　本鑛山は始め朝鮮人に依り姑息に稼行せられたりしが大正元年十一月以降佛國人「ロンドン」の經營に移り稍大規模に擴張するに至れり現時稼行せるは大楡洞坑及び東楡田坑の二坑にして小楡田章土洞東沙洞及び青山面地區内にては坑道開鑿に依り地下採鑛中也採鑛は主として上向階段法に依る、即ち主要横坑開鑿の途次品位佳良なる個所を選定し縦五尺横十尺の掘上りを掘進中間を仕切りて鑛石投入口と坑夫昇降口とに區分し高五尺の階段を設けて採鑛を爲し採掘跡は捨石を以て塡充す大正五年一月より九月迄の開鑿工程は九千七百九十呎にして採鑛量は二萬四千八百二十一噸也

△坑内の運搬　は大楡田坑に在りては創業當時零番二番坑道間に坑井を設け捲揚に依り鑛石を零番坑道に捲揚げ鑛車に依りて選鑛場に搬出したりしが其の後坑井を地表迄掘上げ「ヘッドギーア」に依りて選鑛場と連絡を取ることゝ爲したるも下盤鑛採掘の不便あるに付き大正三年中零番坑道より現在の斜坑三百九十尺を掘進し各採鑛場に於て鑛石投入口に投入したる鑛石は主要横坑道に落溜迄運搬し捲揚に依りて零番坑道地並に引上げられ選鑛場及び貯鑛場に運搬す東楡田坑に在りては開坑當時より現在の斜坑（延長五百五十尺）を一番坑道より掘進し大楡田坑と同樣の運搬系統に依り鑛石を搬出す原動力は總て蒸氣汽罐に依る而して現時使用せるは坑内捲揚げ及び排水用として『ホリゾンタル、レターン、チュラー、ボイラー』四十馬力及び五十馬力各一臺搗鑛機發電器用九十五馬力一臺を備ふ

△製錬の方法　は搗鑛混汞青化製錬及び泥鑛製錬法を併用す搗鑛混汞場には十二時擂鑛機一個九百封度搗鑛杵三十個汞化板六個を備へ大工「ウィルフレー」淘汰盤三個を設置せり青化製造所には溶解槽四個沈澱槽十個亞鉛槽十一個を備へ溶解槽は一回九十五噸の鑛泥を處理す泥鑛製錬場には除水槽一個攪拌機三個貯鑛槽「ベッタア」眞空濾過器一個「ソリューションタンク」二個「ランファイアー」二個を備ふ

講和乎非乎

果して平和來る可きや（三）

□露佛兩國の決意

聯合國の戰爭に對する協同的精神は益々牢固を加へ、殊に英國に於てはロイド、ジョージ氏の國防內閣新たに成り、擧國一致積極的活動を試みんとし、佛國に於ても亦内閣を改造し軍事會議を新設し、列國の決戰的意思の牢固たる時に於て突如獨逸は中立國を介して聯合國に講和を提議し來つた、當に此の重大問題が正式に列國政府に提起せられたる時に、列國の政府は如何なる態度を以て之に應へたるか。

先づ、此戰爭に於て聯合側として最も大なる犧牲を拂ひつゝある露國並に佛蘭西が如何なる態度を表明したるかを見よ。

□露國外相の宣言　獨逸の講和提議が露國の輿論をして強硬論を高調せしめたる時に、同國の新外相ポクロウスキー氏は十五日露國下院に於て熱烈なる宣言をなした。外相宣言の要綱に曰く、獨逸は今又我が聯合諸國を離間せんが爲め公然平和談判開始の提議をなし來れるも、其提議は平和の性質に關し何等實際的に指示する所なし、獨墺兩國は我が聯合諸國の領土を荒らし且つ露領波蘭を獨立せしめ全波蘭民族を自國の手中のものたらしめんとして居る、斯の如き狀態にありては平和談判は單に獨逸に利あるのみ彼は露國の眞精神を解せず露人無氣力なり此提議に應ずべしと思ひ則ち此擧あるが如し、然れども**露國民は敵が露國領土内に在る間は平和を締結せず**と述べられたる皇帝を中心として團結せるものである、露國は聯合諸國と共に、其の生存上必要なる最後の勝利を制するまで戰爭を繼續し決して敵の奸策に陷らぬであらうと。

□露國議會の結束　外相の此の宣言に對して露國議會は全會一致を以て、此の宣言に贊成し平和談判に絶對に反對するとの決議をしたのである、其の理由の要點は曰く、獨逸の提議は實際の勝利を期し能はずして只今次の提議に由り輿論に對し戰爭の開始及び繼續の責任を免れんとする僞善の遁辭に外ならず、**其時機に非ざる平和は一時の休戰に外ならず**、再び國民に犧牲を拂はしむべき戰爭を發生せしむ可らず、牢固なる講和は獨逸が再び世界戰爭を起さんとする傾向を全然防止せる後に非ざれば斷じて不可なりと。而して之と同時に露國政府は半官的に覺書を發表して既に疲弊し盡したれども未だ征服し了らざる敵と尚早の講和をなすは聯合國の供したる無數の犧牲を總て無効に歸せしむるものであると宣明した。露國の決意は上は皇帝より下は臣民に至るまで牢固たること磐石の如きものがある。

□佛國首相の激勵　更に佛國首相ブリアン氏は下院に於て、最も痛切に論ずる所あり、曰く、余は敵國が十分に武備を施こし、到處に於て人民を捕拿し國際法を蹂躙し、終に相手國を毒殺せざれば已まざらんとするに對し國家を擁護するの義務を有するのである、此時に方り若し余にして我國民に對し『警戒せよ油斷する勿れ』と絶叫せずんば是れ即ち國家に對して大罪を犯すに等しきものである、余は敵に對して『**今回の修羅を生みたる其の血痕は汝の手にありて吾等の手にあらず**』と絶叫するの權利を有す、余は佛國民が敢然として聯合國相互の間に不和の種子を撒布せんとする敵の猾手段に對せんことを望む、余は叫ばんと欲す『今日の佛蘭西は昔普佛戰爭當時革命政府が獨逸に對して爲したる如き屈辱を忍ぶ能はざるべし』と。ブリアン首相の演説は言々句々壯烈を極めて居る其の演説たるや實に武裝的演説であり、獨逸の佛國に與へたる打擊に對する佛國人の憤激の結晶である。而して首相は更に十九日を以て上院に於て一場の大演説をなした、固より彼れの意氣は下院に於ける宣言に比し毫も緩和されて居らぬ。彼は高調して曰く、獨逸の提議は陷穽のみ詭計のみ、**獨逸宰相は國際條約を以て半錢の價値なき紙片なりとまで放言した**、世界は永久に此語を忘るゝ事はできぬ、獨逸は之に對し充分の責任を負はねばならぬ、獨逸の講和要求は無力の强求にして又詭計である、一も確定の意義を見出す事はできぬ、獨逸が斯の如き事情の下に此の提議を爲すは是れ亦一の戰爭行爲に過ぎないのであると、彼れブリアン氏は獨逸の講和提議に對する佛國の態度につき堂々宣明したる後結論を下して曰く『聯合國の公式答復は斷じて我國民を辱めないであらう』と、而して議會は滿場破るゝが如き大喝采を以て之を迎へ之に贊したのである。

斯くの如く露國並に佛國は獨逸の提議に對して他の聯合國に先だちて其の意思を發表して獨逸に酬ひたのである。兩國の態度は英國の首相ロイド、ジョージ氏をして『余は最初の回答が露國並に佛國に依りて與へられたるを甚だ愉快とす……』余は英國政府を代表し兩國の此の返答に對し明快且つ斷乎たる援助を與へんとするものである』と贊嘆せしめた。

「大正の青年と帝國の前途」を讀む

十二月十二日上海に於て　大谷光瑞

（三）

如此して大正に於ける我民族は、聖明に對して盡忠の誠を效せる者と云ふべきか。下民族の乃祖に對し、家名を紹ぐ者と云ふべきか。既に臣節を盡さず、孝道を全せず、唯偸安姑息するのみ。此の大罪を宥恕すべくんば、果して何の罪か恕せざらん。刼盜騙人は、重罪なり、而も其害の及ぶ所、僅々數人に過ぎず、未だ帝國の前途を誤ると云ふべからず。此は然らず、不忠、不孝、五千餘萬を率ゐて、不測の深淵に赴かんとす、是斷じて容すべからず。大正の青年素より毀憒せざるべからずと雖も、不肖は重責を大正の老人に加へんとす。大正の老人とは如何、高齡の人に非ず、而して今日猶生殘せる假令や、下るも、既に明治年間出生は、蓋く錦衣にして、多くは宮女春殿の富貴を兼併せり。素より維新の大業に贊し、官に民に其功勞の著しきは、其報如此きも、蓋怪むに足らずと雖も、身衆人の上に立ち、爵德青年を化するに足るに拘はらず、毫も世人の師導たらず、唯口を開て曰く、近事盡く非なり、實に憂慮に堪へずと。憂慮素より然り、然れども憂慮に止て、拱手傍觀せば、憂慮せざると別なし。是畢竟自家の不明を蔽ふの遁辭のみ。此等の青年時は如何、先輩は憂慮に止て拱手せしか、乃至青年自身は、安逸を貪り、危險界に往來せざりしか、敢て他を顧みるの要なし、自家六十餘年の經過を追想せば、今日の行動の果して可なりや、否や、素餐を懸けざるも、昭乎として見んのみ。素より奔走來往は、筋力の耐ふる所に非ずと云ふも、亦是れ事を逃るゝの好辭柄のみ。明治以前、山河百里を青年時に徒涉せし困苦を、今日急行汽車と、完全なる旅館に依ると、孰れか難、孰れか易か、是亦世を欺くの言に過ぎず。彼等は唯恐るゝ所は、自家の子孫にあり、換言せば現狀に甘せば、終身大過なからん、若然らば子孫永く其榮譽に浴せんと。何ぞ知らん、越王臺上、鷓鴣飛を。夫れ人は生に非ざれば死なり、生は動なり、死は靜なり、活動を歇むれば、唯死あるのみ。生理上死と名づけざるを以て、法律上生存者として認識せらるゝも、精神上より云ば死者なり。死者既に其生者の位に蹠し、長上を以て自から任ず。青年の蹈是に習ふ、一國死者に非ざるなし。一國人皆死して國の存するを聞かず。宜哉國運の漸次衰亡に傾けるを。故に彼等をして活動せしむるに非ざれば、速かに邪藥の質を擧げざるべからず。否らざれば、全國民を擧げて、死者たらしむるに至らんのみ。我國明治の代、上に明君あり、下に賢臣あり、皇謨を恢發し、皇威八紘に輝く。大正の御宇、上に聖明の君あれども、下に補弼の賢臣を缺ぐが如し。是れ人材の缺亡か、士氣の沮喪か、制度の罪か、果して如何。故桂公は賢臣なり、不肖の知る所公の右に出づべき人なし。忠恂の誠は、公と比すべき人猶多し、行政の才能亦公と比すべき人少からず。然れども世界の大勢に鑑み、帝國の前途を見、其方鍼を定め、駸々乎として息まざるは、其人稀なり是の氣宇、器量を有する者に非ざれば、帝國の大宰相たるの器に非ず。議會に於て多數を制するが如きは、抑々末なり。近時は唯議會の交涉に重きを置き、帝國の前途に及ばず。議會とは如何、兩院は國民の代表機關なり。國民を指導し、光輝ある發展を期せず、唯代表者と交涉紛々せんとす。如此くして國民の信賴を得んとす、又難し。况や既に聖明に答ふるの道に非ず、假令代表者と苟合協和すと雖も、國運の善導を誤らば、以て外侮を禦ぐ能はず、外侮禦がざれば、主辱しめられ、國削る。此に至つて臍を嚙むも及ばず。白耳義は、政府國民共に一致せざるに非ず、而して主辱しめられ、國削る、塞耳維は、政府國會相鬩ぎしに非ず、而して主遁れ、國亡す。羅馬尼如何、上下一致、猶列強相援くるも、君主蒙塵し、地既に半を失ふ。此三國は、内訌紛雜せしに非ず。而も強敵是に臨めば、敗亡踵を旋さず。然れば輔弼の賢臣は、國運の發展を圖るにあり、國民の指導を爲すに在り。苟且是事とし、英斷を缺く、其罪大なり。

日報詩壇

○殘菊　大内夏畦
一庭霜重百花凋。觸目風光轉寂寥。落菊殘看順節。幽香細細向人饒。
評曰　風趣自然

○客思
少年負氣背家鄕。飄泊東西跡渺茫。千里幽懷眠不得。雁聲半夜惹愁長。
評曰　淒調傷心

○雪曉　齋藤三寅
妖煙未起雪漫漫。破曉衝登躁井欄。乍想溪山蹤一色。聳吟肩欲試驢鞍。
評曰　純然詩人趣旨

○新寒不睡　大隆鳩仙
霜氣忽地撲禪扉。落木蕭蕭斗影微。寒透裂衾眠不得。燈龕兀坐亦忘機。
評曰　諳天一寂之境以勁筆描出

○初冬書懷　古城梅溪
嚴霜烈日肅人情。萬物收藏顯氣淸。方是書生好時候。閉門欲對退之集。
評曰　諷詠之作、足供咀味。

○寒夜茗讌　成田魯石
鼎烹白雪夜延賓。寒似僧家情味眞。七盌茶七盌時襲松杪動梁塵。
評曰　詩味與茶味遒覓

日報歌壇

京城　つる子
わが心しばし廣野の枯草の夕日の前に置きて見しかな

京城　石花島哀葬
おほかたのねびたる人の諦めにこの若き日は去らんとするか

京城　比張子
老ひ給ふ母といさかひ山に行き秋のあはれをしみじみと知る

淸涼里　沼上文泉
年逝かんとす悔悟の思ひしみじみと命さびしき宵にもあるかな

朝鮮鑛業要覽　一部定價一圓廿錢
附圖　朝鮮地質鑛產圖
京城日報社代理部、大阪屋號書店

國民新聞創刊廿五年記念出版
蘇峰文選
上製菊版一千五百頁　定價金三圓五十錢
一萬部限特價貳圓八拾錢　送料海外金九十錢　朝鮮内金三十錢
文章經國を以て畢生の大經とする蘇峰學人三十年間の傑作を精選す。明治大正時代の反射鏡たると共に、日本國民必讀の教科書、精神的修養の糧食、深雅なる趣味の養成所、所有る文章の模範也。
發行所　東京京橋區日吉町　民友社
賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報代理部　電話六六〇番　振替京城三〇〇番

礦山生活中に付歳末年頭の禮を缺ぐ　中島司馬之助

新刊圖書案内

書名	著者	定價
◎系統的國語□覽	水野平次	一、二〇
◎英國經濟的勢力	堀川美哉	一、〇〇
◎默仙禪師南國順禮記	來馬琢道	五、〇〇
◎支那貿易案内	長谷川櫻峯	三、五〇
◎商業實買(上)	小林行昌	一、五〇
◎簡易生活百話	西村才介	六〇
◎英語獨習辭典	佐久間信恭	一、八〇
◎民事訴訟法論	岩田一郎述	二、〇〇
◎刑法論	岡田庄作	一、五〇
◎ロダンの言葉	高村光太郎	一、五〇
◎流轉のはじめ	小林榮子	三八
◎大正青年と帝國の前途	德富	八〇
◎高等文官試驗問題集	巖松堂	六五

巖松堂書店　京城本町二丁目　電話一一六六番　振替京城四五四番

室津鯨太郎氏著
豐臣秀吉論
痛快なる英雄の解剖
▽先人未だ言はざる事を言ひ古人未だ說かざる事を說く通俗平易は本書の特色也
杉浦非水氏裝幀　洋裝美本　三百五十頁　布表紙定價一圓卅錢　郵稅八錢
東京本鄕千駄木町　南人社　振替東京三一四二一
内容目次
果して猿面なるや　茶氣と山氣　ツムジ曲と高飛車　機略縱橫　多情多恨　それから　理想的親分　風流と調事　英雄色を好む　彼の趣味性

新年號
中學生
現代に活動せる日本の壹百名士（肖像と小傳附）
餅の歷史　吉田博士
吾輩は蛇である
全國中學參觀記
初夢物語
堂々二万二千哩伊勢艦の雄姿
數の子の話　岸上博士
六大附錄付き　愈發賣
研究社

雜誌　日本一　婦人研究號
男に對して……二十餘名家　妻を顧みて……五拾餘名家
天照大神論　下田歌子
婦人の世界は近けり　浮田博士
眞の醒めたる女　坪内博士
社會學上の女　建部博士
新時代の婦人の覺悟　大隈侯
支那の女と日本の女　大町桂月
泰西名婦傳　藤本こよ子
戀は婦人の詩歌　齋木仙醉
意外錄　和田垣博士
男に對する要求個條　平塚明子
妻君は下女か子守か　高嶋米峰
口碑傳說のなんな　黄山健堂
獨身生活の悲哀と快樂　嘉悅孝子
日本婦人に敬服して　佛國大使夫人
寫眞に託して　伊國大使夫人
女子神聖論　新渡戸博士
娘としての教育　三宅花圃
姑としての女　鳩山春子
小唄供養　小杉天外
女新聞記者評判記　横山櫻雨
新しい女の新聞體　HR生
大學生と女　赤門浪士
淀君寃雪錄　福本日南
女は神の傑作か　神長倉眞民
新をんな人國記　丸山博章
男女修容問答　藤波芙蓉
革新せよ!!（英和兩文）　新渡戸萬里子
十行社會評論　小野士筆
余の處女觀　三宅雪嶺
女の問題の解剖　山脇博士
お染久松　猫遊軒伯知
◎本號特價金貳拾錢　送料貳錢
◎東京牛込南北町　振替東京一九四

京城旭町一丁目
内科小兒科　小林醫院
入院隨意（傳染病者並に隔離病者）
醫學士　小林千壽
電話六九二番

帝國議會成立詳報

既報の如く第三十八次帝國議會は二十五日を以て東京に召集せられ貴衆兩院共即日成立したるが今詳細の狀況を報ぜんに

▲貴族院 は午前八時本期議會第一振鈴の下に德川議長以下二百九十四名の議員出席議長先づ開會を宣し次で議員の議席は著席の儘とす事及び貴族院規則第五條に依り部屬の抽籤を行ふべき旨を告げ終つて九時五十分一旦休憩の後各部室に於て部長理事の互選を行ひ十時十分散會各部互選の結果を報告し之にて議長は貴族院規則第十一條に依り貴族院の成立を政府に通牒する旨を宣し十時三十分散會せり

▲衆議院 は午前十時振鈴を合圖に島田議長以下三百四十名の議員議場に著席するや議長は岡崎書記官長以下を隨て著席第卅八次帝國議會は本日を以て召集せられたる旨を告げ前期議會後の議員の異動を報告し次で當日召集に應じ新に議席に著きたる大阪府郡部選出議員田中萬逸氏(憲政會)長野縣郡部選出風間禮助(憲政會)島根縣郡部選出議員藤嘉右衛門(憲政會)栃木縣郡部選出田村順之助(政友會)岡山縣郡部選出山谷虎三(國民黨)長崎縣郡部選出則元由庸(政友會)金澤市選出中橋德五郎(政友會)德島縣郡部選出西野謙四郎(政友會)の諸氏を紹介し終つて衆議院規則に依り議席を指定し書記官をして議員の部屬を抽籤せしめたる後各部に於て部長理事を互選すべき旨を宣し十一時二十分休憩十一時四十五分再會するや議長は部長理事互選の結果を報告し之にて衆議院成立したるを以て此旨を政府及び貴族院へ通告せり尚開院式日取は追て御沙汰あるべしと告げ十一時五十分散會せり(東京特電)

議會開院式詔書

第三十八次帝國議會成立に就き二十五日官報號外を以て開院式に關する左の詔書公布されたり(東京特電)

詔書

朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依リ十二月二十七日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名御璽

大正五年十二月二十五日

各大臣副署

前田侯歸朝

大正二年八月軍事研究の爲め英國に渡航し滯英一年恰も歐洲大戰に會し觀戰武官として英軍司令部に入り實戰上の見學を爲せる陸軍步兵大尉前田利爲侯は本年五月出迎の爲め渡英せし夫人波子の方同伴隨員を從へ二十五日午前八時橫濱入港の春洋丸にて歸朝十一時東京驛著多數の出迎を受け本郷の自邸に入れり(東京特電)

開院式行幸

天皇陛下には二十七日午前十一時貴族院に於て第三十八次帝國議會開院式を行はせらるゝに就き同日午前十時宮城御出門第一公式鹵簿にて同院に行幸あらせらるゝ旨仰出されたり(東京特電)

支廠新設

無論議會は通過すべし

陸軍省にては大正六、七兩年度繼續事業として朝鮮に砲兵工廠支廠を新設することに決し第三十八議會に六年度三百萬圓七年度百萬圓を要求する事となれり帝國の兵器製造能力が這次大戰の經驗に鑑み其の增加を緊要とする事は一般に認識せる事なれば議會も該要求を可決するに至るべきは疑ひなき所なるが其の設置場所に關しては京城及び平壤の中孰れかに決すべく明年二月頃には確定するに至るべし(東京特電)

楠野府尹出發

楠野新任仁川府尹は二十六日京畿丸にて出發赴任すべし(淸津特電)

支那財政計畫

▲不足額の彌縫策 支那六年度の豫算案は收支一億餘元不足を生じ其後國務會議に提出して此れが善後策を討議中にありて差當り財政部に於ては其支出の豫算より二千餘萬元を減額し尚各部とも出來得る限り減額せん事を希望しつゝあり而して今回作製せる六年度豫算案に就ても尚不完全の點あるを免れず目下有識者より當局に注意しつゝあり即ち收入の內內債二千萬元とあるも現在各省に於て全力を盡して募集しつゝあるにも拘らず僅かに五百萬を募り得しに過ぎざれば六年度に於ても此以上に募集し得る見込無しと云ふにあり、又一つは各省の陸軍費の豫算に計上せられざるもの約二千餘萬元ありて今回の革命以前の豫算を共に計上せらるにありと云ふ、故に連日國務會議に於て討議しつゝあるも容易に此れが解決を見ず、最も困難の模樣にあり又財政部・國務院・總統府等より組織せる財政會議に於ては明年度より宅地稅・營業稅・登錄稅・所得稅等を實施せんとし不日各省に委員を派遣して調査を爲さしむべしと

▲交通銀券の兌換 又交通銀行券の兌換に就ては財政部に於て其辦法に付き苦心研究しつゝありしが各造幣廠より逐附し來るべき新貨幣一百萬元と米國一千萬元借款の一部及び某小借款の一部等を加へ全部にて千餘萬元を得べければ明年匆々制限的兌換を開始し以て同行紙幣の信用を恢復せしむべしとの議あり

▲小借款の運動 現今支那政府財政の困窮は周知の如くなるが目下諸支拂の處理を爲さゞる可らざるに今年末も差迫り今日迄遷延し來れる一方大借款の成立も速急に望み無きを以て焦眉の救濟策として各方面に小借款の運動を爲しつゝあるも一方外人側に於ては其抵當物及び特種利權に就て容易に出資せず何れも成立困難の模樣にあり即ち支那側は借款は望む所なれども抵當の過當や利權の提供の如きは思ひも寄らずと云ふ有樣なれば双方の意思纒らず遂に成立は難かるべしと

明年度警務施設

今回發表されたる朝鮮總督府六年度豫算を見るに警務費は三百三十五萬零九百圓を計上し之を五年度豫算の三百三十一萬六千四百七十二圓に對比する時は三萬四千四百二十八圓の增加を見し次第なるが當局者の云ふ所に依れば五年度施設と何等變更なく三萬四千餘圓の增加は警備船の新營費にして特に新施設と稱すべきものなしと

累卵の如き獨逸

英國大藏次官の談

英國大藏次官サアド氏が紐育オールド會議特派員に語れる所左の如し

英國政府は常に戰時財政狀態を赤裸々に公表しつゝあるも獨逸は極端に秘密主義を守りつゝあり例へば本年春の獨逸議會に於て大藏次官ヘルフエリッヒ氏の演說せし豫算案の如き總て實數を示したるものに非ずとは同次官の告白せし所也殊に國民の最も知らんと欲する陸海軍費を全然發表せざりしが如きは奇怪千萬也而して議員か財政の眞相を發表す可きを迫りて已まざるや次官は

▲開戰前年の豫算 に多少の修正を加へたるものを提示し議員の失望と反感とを招きたり事情斯の如きが故に世に傳へらるゝ獨逸の戰費なるものは外部より推測せる概算に止まるのみ何故に獨逸は戰費を公表せざる乎其理由は(一)戰後被征服國より多額の償金を得らる可きを豫想し戰費の如きは國民に知らしむるに及ばずと思惟せし事(二)普魯西と他の諸聯邦との歷史的反目ある爲め戰費の批判は國內の統一を破るの虞れある事(三)操縱者が戰時財政を特殊のものとして敢て批判を加へんとせざる事等にあるや勿論也

▲而して獨逸當局 者は戰時內債募集の顯著なる成績を擧げ得可きを豫期せしも總て實績を擧げ得ざりしかば白耳義に侵入せし以來各市の銀行より有らん限りの正貨を掠奪し以て資金の充實に努力せるも未だ所要の費用を得る能はざる也成程獨逸は第一回公債募集に即時應募者滿員の好況を見たるには相違無きも政府の得たる物は悉く政府が新に發行したる不換紙幣(開戰と同時に一切の紙幣は不換紙幣たる可きを公布し且つ多額の紙幣を發行したり)なりしにて事實何等の價値無き反古を得たるに過ぎず茲に於てか當局者は

▲方針を一變して 不換紙幣が徵稅等の爲に政府に回收され流通高減じたる頃まで新公債の募集を見合す事とし以て今日に至れり但此の方針とても銀行及び國民(即ち應募者)が政府を信用せざるに及んでは全然行はれざる可きは明白也故に政府は更に之が準備策として各種製造原料は出來得る限り與國又は中立國に賣却せしめ依りて得たる正貨は決して國外に流出せざるやう當局者に於て細心の注意を拂ふ事とせり其結果として一面金融市場は潤澤となり同時に政府の信用は實際以上に支持せられつゝあり

▲是れ妙策なるが 如きも同時に獨逸國內に於ける通貨の著しく膨脹し來れるを否む可からず即ち在來の紙幣と是等の正貨とに加ふるに各種公債々券も亦市場に流通しつゝあるが故に戰後久しきに亙りて入超と物價騰貴とを抑止する能はざらん斯くまで窮地に陷り乍ら尚內債募集のみに依賴し斷行し得ざる所以のものは帝國(普魯西を中堅とせる)と各聯邦との憲法上の關係よりして自由に增稅し得ざると更に重大なる原因として大地主が一般地方の因習偏見より政治上の權力を有せる傾向あるが爲に新なる徵稅が議會に於て容れられざるに因るものなり

▲獨逸財政の窮狀 其れ斯の如し想ふに戰後に於ては國富恢復の爲に原料と食料品との輸入を餘儀無くさる可く特に鐵を要求する事多大ならんも之を買ひ入るゝの資力乏しかる可きを如何せん然らば外債募集か或は國家の破產と滅亡とを來さんのみ最後に平和回復後の國際金融に就て一言せんに今日獨逸の勢力範圍に在りと信ぜられつゝある和蘭、丁抹、瑞西及び土耳古に於てすら「馬克」は大割引されて交換されつゝある事なれば戰後世界市場に於て「馬克」の如何に虐待さる可きや豫想の外にある可し觀じ來れば獨逸の將來や實に累卵の如からずや

甜菜公募少數

平壤に朝鮮甜菜精糖會社を設立する事に就ては旣報の如きが其の發起人は內地に於て二十人(前報十八人とありしは誤まり)に對し當局の意を受けて原田京城商業會議所會頭の斡旋せし京城平壤鎭南浦の內鮮人合計八人を加へ都合二十八人にて其の株數は資本金五百萬圓一株五十圓にて十萬株なるも發起人並に贊成人の引受株數頗る多數に上るを以て其の公募はなすも多分少數に過ぎざるべしとの事なり

朝鮮の絹織物(下)

京城工業專門學校教授 室田武隣氏談

此等各種の製品は其の產地に依りて何れも獨特の味を有し各階級の需要者に依り其の用途亦相同じからず、而して本品の地合の堅きを以て愛用せらるゝが如く思惟せらるゝも、少しく之を徵細に研究する時は其の缺點は寧ろ練の不足より來る結果にして製品の光澤に於ても練の如何は之に至大の關係を有することを認めざるべからず、又寧邊紬は絲質粗大なるの嫌あるも、上位より中位の品質多く北鮮地方に於て其の勢力を占む以上の外紬の名產地として擧ぐ可きものに平安北道の順川、泰川、平安南道の順川、价川、江原道の伊川、春川、京畿道の抱川、黃海道の兎山、全羅南道の光州等より、亢羅は平安南道を唯一の產地とし、德川亢羅、安州亢羅最も其の名高し

▲需要と自作自給 半島絹織物需要額の莫大にして概して貧弱なる一般生活情態との均衡を得ざるは何人も之を認識するところなるべし、然るに其の生產に至りては他の織物に比し依然として進步の徵を認められざるのみならず却て衰退の兆を呈し朝鮮斯業界の爲め前途甚だ寒心に堪へざるものあり、即ち年々增加の傾向を示しつゝある本品の需要に對し其の生產をして目下の如き極めて幼稚なる農家の副業に一任し其の自作品を以て鮮內需給の調和を計らむとするが如きは到底不可能のことにして益々支那製品の輸入の增加を來さゞるべからざるなり。今前揭大正三年の統計に徵するに

▲一箇年間絹織物 の自作高は僅かに六十二萬二千八百九十三圓を算せしに過ぎずして二百五十四萬九千八百八十一圓即ち自作高に對する四倍餘の輸移入を海外市場に仰ぎたり、而して同年中の輸移出高百八十圓を前二者の和より引去りたる殘高は三百十七萬一千七百九十四圓にして是れ即ち全鮮一箇年間の需要額と見ることを得べきなり、而して斯の如き巨額の需要力を有する我が朝鮮に於ては之を自作して多大の輸入品防遏の途を講じ以て國益の一端に資すべきこと吾人の常に希望して止まざるところにして、各地に於ても亦著々改善獎勵の施設を見つゝある所以なり

以上の如く本業は他の織物に對しても比較的有望なる事業として企畫せらるべき筈なるに現に反つて衰退の狀を呈せるは甚だ遺憾に堪へざるところなれども、少しく之を詳細に觀察する時は其の素因するところ二三にして止らざるなり(完)

東拓收納好況

東洋拓殖會社に於ける本年の小作料收納は既に各道を通じ終了したるが一般に豐作なりし爲め其の成績良好にて總計約三十二三萬石に上り之れを前年に比し概算一割の增收となる由

鐵道救濟會近況

鐵道局職員相互救濟會の十一月末に於ける現況調査を聞くに其の累計現在金額は三十八萬九十圓に達し十一月に於ける收入は八千二百圓にて同月中の支給は死亡傷病其他合計五千百六十圓なりしと

全北出棉豫想

全羅北道に於ける本年の出棉高は約七十萬斤に及ぶべく昨今に到り出廻り漸く旺盛となりたるが品質も可成り良好也と

朝郵航路一部休航

朝鮮郵船會社航路中仁川鎭南浦線は結氷の爲二十二日仁川發限り當分休航の事となりたり

苦力歸國少し

今春より初秋に亙り支那山東苦力の露領に出稼ぎせし數は非常の數にて仁川に上陸し京元間を橫斷し朝鮮の便船により歸國する者のみも數千を算するが每年結氷に際しては十一月頃より歸國する者の常例となり居るも其の歸國者の數例年に比し著しく減少し居れりとの事なり之れ冬期も滯貨等の關係上浦鹽方面に於ける人夫の需要旺盛の爲めならん

總監部忘年會

古海警務總長は總督府の一部龍山司令部の一部及び憲兵隊司令部總監部の高等官を來る二十八日午後六時半より料亭千代本に招待して忘年會を開催する由

●電信電話事務開始 十二月二十六日より慶南金海郡金海郵便局に於て電信電話通話事務を開始す

遼陽より

▲貨幣の缺乏 奉天の兌換屋なるものが頻に取付を爲す爲支那銀行が紙幣回收一方にて貸出を杜絕し居る結果遼陽邊も支那貨幣甚しく缺乏し殊に特產物買附にて田舍方面へ流出するもの少からざるを以て昨今銀の拂底より諸取引圓滑を缺き石炭商なども買込みはあるもの丶回收困難を訴へつゝありと一時を利する兌換屋も廣き財界を毒することに顧みざるべからずと云ふ

▲邦品好賣行 洋錢騰貴といふも洋錢本位の支那人より見れば畢竟日本金の下落としか見へざる爲從來一圓三四十錢を支拂ひて日本金一圓の品物を買ひたるものが今は反對に一圓で尙且つ剩餘錢を得らるゝといふ現象なるより支那人の日本商店に就き買物するもの增加の傾きあり之が爲防寒品等の賣行は良好なるが如しと

人事消息

▲高久馨氏(會社員) 二十五日夜入京朝鮮ホテルへ

▲マルコーラ氏▲ハリス氏▲ツオシボン氏▲ホアイトモーア氏(以上米人)▲ササランド(英人)同上

南言北語

例年新年の御勅題を詠進する人々は三萬人以上にも達するが其違式には御歌所々員も痛く殘念がつて居る▲今年も最う下調べが始まつたが相も變らず違式が多く實に詠進數の一割に當つて居る由だ▲折角詠進しても違式のものは兩陛下の御前に供へ上る事が出來ぬ故來る卅一日の締切までに詠進する人は特に其點に注意を要すべし▲戰爭の餘澤は勞働者や農民に迄及んで來たと見ゑ郵便貯金の激增は想像の外である▲最近の調査に依ると全國の貯金高は三億を超ねて居る▲仍て何れの地方が預金高が多いかと調べて見たら內地では大阪府で一人當り二十二圓十二錢次に東京の二十一圓三錢▲下關は十八圓五十八錢福岡は十五圓四十錢と云ふ順序である▲一方新領土や殖民地は何うかと見ると滿洲は頭拔て多く一人當り三十二圓四十五錢▲北海道が其次で二十六圓二十錢▲臺灣は遙か下つて十二圓三十四錢▲朝鮮はタッタ九圓九十六錢と云ふ割合だから情ない

日本魂 新年號

賞金參百八拾圓 脚本審査發表

社會上下に通じて儀禮の紊亂せるを慨するの餘特に濱口村上外語校長、松岡康毅、葛西博士、賀茂靖國宮司、牧師、末廣天台大學長、小笠原家元等の眞面目な實際的な論說を揭げて一般の覺醒を促すのである此他本誌獨特の記事としては高木男、目賀田男、石橋海軍中將、伊豆陸軍少將、岩崎中央幼年校長、栗田海軍大學教官、瀧文學博士、伊藤第一高女校長、高橋義雄氏等の名論卓說に添ゑるに安藤我酒家十郎、五郎、樂天會天外三氏の小說より面白き邊霞亭の長編小說、柳家小さんの落語等 東京京橋卅間堀 振替三二七七五番 日本魂社

日韓書房 新版報告

下川義治著 實驗 蔬菜園藝 定價一圓八十錢 郵稅二十錢
小野賢一郎著 人情新話 水の流れ 定價六十錢 郵稅八錢
中村八郎著 笑ひながら覺へられる 正式算術 定價五十錢 郵稅八錢
須藤寒泉著 新年お伽 古戰場物語 定價六十五錢 郵稅八錢
梶山彬著 現代に聽かさるべき 克己と勤儉 定價五十錢 郵稅六錢
京城本町二丁目

史學專攻 文學士 坂本健一君著
通俗世界歷史
第壹編 英吉利帝國 既刊
第貳編 獨逸帝國 新刊
各編四拾五錢
大判洋裝美麗製本・各編地圖及寫眞版挿入
獨逸はいま日本の敵國である。然り獨逸は強き敵である。敵としても、また味方としても強きものを有するは吾人の誇であらねばならぬ。古語にも敵を知り己を知れば百戰百勝といふではないか。戰の結果は、昨日の敵は今日の味方となるか、はた今の敵に永き將來の敵となるであらうか、孰れにしても吾人は強き獨逸を知らねばならぬ。
第參編 露西亞帝國 續刊
東京本町 博文館

料理の友 新年號
有益な記事と正月料理滿載
家庭食物の改善 永井博士
御婦人子供の喜ぶ美味しい御馳走 氣の利いた正月用の早吸物三種 乙で氣のきいたお正月向きの肴 新年用重詰料理 酒客向即席料理 生活上の天國 餘裕ある生活法 新案の勅題御雜煮 純日本式の西洋料理 風流な即席しるこ 安價食物の新研究 正月の諸飾と年賀應答の心得 家庭圓滿の秘訣 吉川博士
極彩色密書及圖解百餘個入

◎大賣出
自園培養、枯死無懸念、古木梅盆栽
□福壽草 □雪割草 □黃梅 □寒椿 □松竹
其他古器、骨董、廉價販賣
京城大和町憲兵隊總監部四ツ角(電話一三五〇番)
微笑園 大舘龜吉

の調査[illegible]
日に至れば[illegible]十七となり即ち[illegible]
ば輸出總額十億七千七百五十萬[illegible]十九萬二千[illegible]にして同年に比し[illegible]六億六百十六萬八千圓を增加し
にて前年同期に比し三億九千四[illegible]たるが之に今後一箇月間に於る輸出額[illegible]入約七億五千五百萬圓[illegible]約十八億七千五百萬圓の巨額に[illegible]べし

▲本年出超總額 前記の輸出入總額に依れば十二月二十日迄の輸出[illegible]二百萬圓輸入額千五百萬圓差引超過[illegible]萬圓、臺灣貿易に於ける輸出[illegible]朝鮮貿易に於て[illegible]十五萬圓に比[illegible]

▲[illegible]の輸入[illegible]に於ける大連各油房の豆油豆粕の製產高を聞くに十一月までの豆油豆粕の製產高は左の如く
一月 三三三〇〇〇枚 二月 三〇九〇〇〇枚[illegible]
之に十二月[illegible]二百五十[illegible]と假定すれば豆粕の總產額四千百三十九萬四千枚にて豆油の產出高は一億八千六百二十七萬三千斤となり昨年の產[illegible]

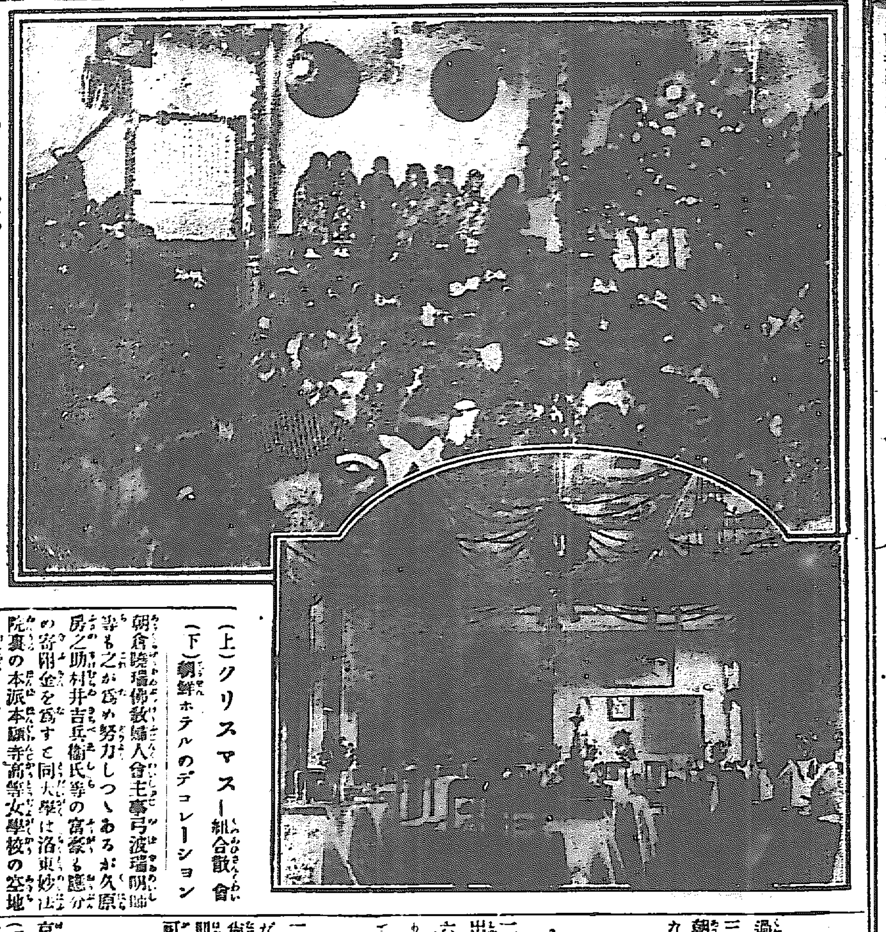
榮の輝き 歡びの歌
昨夜京城各敎會の聖誕祭

朝から吹き出した風は夜に入つても歇ます、寒さに戰くやうな押し詰まつた暮の街々に荒れ狂うて安からぬ日の午後七時頃から、京城の各敎會では

◇天地の平和榮光を 一堂に集めて希望に滿ちたクリスマスが執り行はれた、此の日同時にお祭りをする日本基督敎會、メソヂスト京城敎會、聖公會、組合敎會では堂の程から樹てたクリスマスツリーには紅紫とり〲のモールを結び連らね、金銀の珠玉の色系に搖れて室內の天井から天井に吊り廻された萬國旗の華麗なると相和して電燈の光燦然たる中に當日のお客樣なる子供等に喜び迎へらるゝかず〲の明物が山と積まれて赤々と燃えしきる暖爐の溫みと共に歡喜の色が漲つてゐた、やがて時刻になると日本基督では橋本長老の司會で開始、讃美歌、聖書朗讀、持地なみ子の歡迎の辭、橋本のぶ子の獨唱可愛い子、國分博夫の祝文等に次で

◇愛の組、榮光の組 眞理の組、希望の組、信仰の組その他の歌、對話、暗誦があり賞品授與にお菓子が配られて暫らく休憩二部では星野長老の司會で御話、活人會合唱、贈物があつて祝禱を終り十時過ぎに散會、聖公會では第一部が須貝委員の司會二部は日曜學校敎師の司會で日曜學校生徒の祝詞、對話、唱歌等第三部では賜引、幻燈、餘興等があつて十時過ぎ散會、メソヂスト敎會では岡牧師の司會で種々興味深き樂しみを倶にし矢張十時過ぎに散會組合敎會では七時から說敎、子供の對話、唱歌、活人畫などがあり十時散會した

◇朝鮮ホテルでは 食堂、酒場を美しく裝飾し七時からオーケストラを奏し献立も七面鳥を始めとしてクリスマスに相應しい珍らしい料理のかず〲が運ばれた


(上)クリスマス―組合散會 (下)朝鮮ホテルのデコレーション

大谷派の女子大學

故籌子の方の第七周忌記念として設立されん

明年は本派本願寺前法主大谷光瑞師の裏方故籌子の方の七周忌相當につき陽春の交同寺及び大谷家にては盛大なる追悼法會を營む由なるが師の令妹

◇九條武子夫人 を會長とせる佛敎婦人會にては故籌子の方の遺志なる佛敎女子大學を其七周忌記念として設立の議あり武子夫人は之れがため全國各支部に到りて基本金の募集に着手し同寺私立高等女學校長朝倉暁瑞佛敎婦人會毛事弓波瑞明師等も之が爲め努力しつゝあるが久原房之助村井吉兵衛氏等の富豪も應分の寄附金を爲すと同大學は洛東妙法院裏の本派本願寺高等女學校の空地に建築し

◇家政國語漢文 兩科を置き四箇年程度の高等女學卒業生を入學せしめむと修學年限は二箇年にて別に幼稚園をも併設すと主務省に於て女子大學の名義にて許可せざれば女子專門學校と命名する筈にて認可の上は來年四月一日より開校すべしと(大阪支局)

關門海峽で汽船坐洲

兵庫縣武庫郡本山村池田志保三郎氏所有第二八幡丸(六一三噸)は唐津より三井物產石炭七百噸を滿載し大阪に向ふ途中二十五日午前九時五十分關門海峽田の山下にて潮流の爲め進路を誤り坐洲せしが報に接し門司海務部其他の汽艇多數現場に急行引下しに努め居れり(門司特電)

◇賣れるわ〱
好景氣の餘沫は意外なところ迄 大ニコ〱

歲暮の景氣は日に日によく何れの店も茲數年來の賣上であるといふ殊に商店の好景氣は

■意外の邊にまで 影響して餅屋がよく名刺屋がよく佛屋がよく揩車がよくそれに病院までが收入りがよいとは何よりも結構、食料品や砂糖屋の如きは月の中旬頃から非常な賣れ行きで大晦日に迫れば案外お客が落着くかも知れませぬイヤハヤこんな年は

■五六年來のこと で洵にありがたい幸せとのこと、年末年始の贈答品の如きも景氣のよいお蔭でなか〱の賣れ行き此の分では來年の繁昌ぶりが思はれますと何れもニコ〱ものそれに內地の好景氣をうけて地味な必要品も賣れる代りに、だん〱新價の品も賣れて來たとのこと、且つまた吳服屋では何れもほく〱

■大人氣の御入來 とあつて木綿ものから銘仙類お召まで概してよく捌けるとのこと此の方は仕立があるからあまり押し詰つては賣れませぬが、それでも今年は十一月から十二月の昨今にかけてもよく賣れ行き仕立部の方では何れの店も臨時增員の不眠不休なれどもいよ〱二十三日から全部斷つたとのこと――これは此上最早や引受けても

■裁縫の手が無い 爲めであるさうだが全般を通じて歲暮の景氣は好人氣、それに今年は早くからドシ〱賣れて行くところが明かに好景氣の證左であると何れにしても芽出度しく

有菌鼠を發見す

ペスト消毒區域中より過日ペスト患者を出せる大阪市西區三軒家町の消毒區域中より二十五日朝斃鼠を發見せるが中六頭は有菌鼠なり(大阪特電)

燒死者六名重傷者一名

新義州朝鮮町の出火

二十五日午前三時新義州朝鮮町より出火し二棟七戶を全燒し鮮人燒死者六名重傷者一名を出し同五時鎭火せり原因は溫突の不完全なるが爲めにて被害高は目下取調中なり(安東特電)

清津降雪甚し

二十四日以來清津地方の降雪益々甚だしく奧地との交通は全く杜絕せり雄基二十五日午後よりは風加はり寒氣肌を劈くが如く沿岸線の汽船は航行不可能となれり(清津特電)

留置場から裸で逃げ出した男

京畿道江華郡外面乾坪里金錫權(三五)は僞證罪に依り江華警察署に留置取調べ中八月二十六日夜看視巡查の隙を窺び壁板一枚を取外して裸體の儘逃走し爾來行衛不明なりしが此頃密かに自宅に歸りて潛伏し居れる所を同署の手に逮捕されたり

山中で襲はる

黃海道載寧郡龍山面荷田里李根鐸(四六)が十二月十三日夕刻同面浦邊洞の松林中を通行しゐたる際突然山中より一名の曲者現はれ同人を突き倒して腰巾着を強奪せんとしゐるより根鐸は激しく抵抗中通行人ありし爲め賊は其儘逃走せしが件の曲者は鳳山郡岐川面御史里の金昌權(二〇)と判明し此程憲兵分隊の手に捕る

本妻、妾を訴ふ

新權確認訴訟の判決

南南穆山郡道安面老岩里亡車文伯妻池中舟は權內親辯護士を訴訟代理人として車文伯の妾申高鑑を相手取り相續人の引渡し及び親權確認の訴訟を過般公州地方法院に提起したり是に對し申高鑑は鄭請鉉辯護士を訴訟代理人として原告の請求は棄却を求むる旨の申立てを爲し數回の辯論ありたるが其の事實に依れば池中舟は亡車文伯の正妻にして申高鑑は妾として何れも同棲中文伯は大正二年七月三十一日病死したり然るに正妻池中舟には生子なく其後申高鑑には車文伯の遺子として車福壽といふが大正三年十月十七日產れ出でたれば申高鑑は自然車福壽をして遺產を相續せしめ從つて自己が親權者たるの意志を以て財產管理人たらんとし兩女間には常に風波絕わず遂に民刑事の訴訟沙汰に及びたること一再ならず之れが爲め原告池中舟は同棲に耐へず大正四年舊五月十九日以降別居するに至りたるより申高鑑は池中舟が相續人なる車福壽の保育をもなさず財產をも遺棄して外出したるを以て車福壽の親權者及び財產管理人は當然自己にありと主張したるものなるが關係者の證言其他に依り此程被告は原告に車福壽の親權者たるを確認し同人を引渡すべしとの判決となりて妾申高鑑の敗訴となりたるより同人は之れを不服とし更に池中舟を被控訴人として京城覆審法院に控訴せり

二千圓の脅迫狀

墳墓の傍の松の樹に

全北全州郡完山町徐贊補(三七)は全州郡草浦面下里鄭成仲と云へる兩班の所有に係る益山郡王宮面鳳岩里所在の墳墓を發掘し其上鄭成仲を脅迫して

▲金二千圓を強奪 せんと企て先づ是れが初手段として本年五月下旬同墳墓の傍らなる松樹に脅迫狀を貼付し置きたるに折柄墓參に來りたる鄭成仲は見て驚き何者の仕業とも判明せざる所より其儘自宅に持ち歸り居りたるが數日間を經過して後又復鄭成仲に何者とも判らずたゞ金二千圓を全州倂岩に持ち來るべしとの脅迫狀を送り來りたるより鄭成仲は取敢へず此旨全州署に屆け出でたれば同署にては嚴重

▲犯人密偵中 過日前記徐贊補が突然僧岩に現れたるより引致の上詳細取調べたるに彼れは數日前全州郡參禮面西溪里なる前記鄭成仲の山番なる李春西方に到り自分は汝の主人鄭成仲の依賴に依り理里の貸金取立てに赴きたるも受領する事能はざりしより止むなく參禮まで無賃乘車にて來り之れが支拂ひに窮し居れば一時四十錢を立替へ來れよとて四十錢を騙取し居る事判明したれば署は直ちに該脅迫狀を突きつけ自白を促がしたるも飽くまで否認するより脅迫狀の筆跡と被告の筆跡とを對照したる處毫も異なる所なきを以て身柄は一件書類と共に檢事局に押送さるべしと(全州)

●廣南敎會獻堂式 日本組合基督敎會が鮮人傳道のため建築中なりし廣南敎會(市內消涉洞)竝に同鮮人傳道部事務所は此程落成したるにより來る廿八日午後二時より獻堂式を行ひ朝野の關係者數十名を招待する由尙當日は同會附屬のレース手工與覽會の作品をも觀覽に供ふ可しと

●四方田書記長令孃 京城覆審法院書記長四方田柔太郎氏三女春枝子は過般より病氣中の處二十五日午前一時五十分遂に永眠せり

▲大食會の第一回には缺席した京銀の弓場支配人は健啖と言ふより寧ろまめな方で恐らく人間の食べるものならなんでも腹に收める▲氏の胃腸はその鐵腸を休めやうとしつくしてその鐵腸に接續した時でも變つた食物を選び入れると遂がへつたやうに次ぎから次ぎへと敏活に動き出す▲此の點で藥者の政勇と大に共鳴して或る座敷で懺悔し合つたさうだ▲大食會では會長の天狀經三人前と政勇の二人前と鉢物のお代りは鳥渡群を拔いたといふ物と仰山だけに居流れる連中孰れも一人前では足らず隙を窺がつては掠奪を試みやうといふ勢を示したそれから意外だつたのは左藤同志の太刀打は兎に角斯の道では如何かと危まれたノ瀨さんが相應の技倆?を見た事だつた▲本町の倉田有牛氏が光瑞大法師の張弟壯遊の途に就かれしを送るとして曰く『大雪山の雪や東の法の雨』と▲これも本町の青木敏郎氏は本願寺の小僧さんに括座人があるとは知らずに居ました――われ等東方に志を有するものは這回の壯擧に感せずには居られませぬとて記念品を贈つた相な

大正六年 國民日記 國民新聞社編輯
本年初めて刊行し日記界破天荒の意匠と用意周到を以て知られたる本書大正六年度用は更に幾多の改良と工夫とを加へ既に製本出來して御注文に應し續々發送中なりつゝ大部數需需の準備あるも此際至急御申込を待つ切の要あり
定價金四拾五錢 郵料八錢
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社出版部
發賣所 京城太平町一丁目 京城日報社代理部

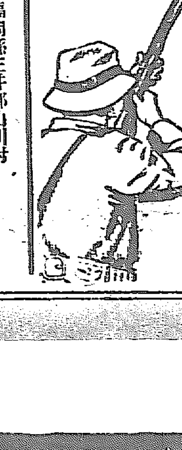
模範 牛乳 ニウソ 石鹼 洗粉
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

新刊書御案內
書名 著者 定價
●茶道寶鑑 三號活字 黑川眞道 特九〇〇
●政治學 稻田周之助 一、八〇
●近世經濟政策の思潮 松岡均平 白鳥喜太郎譯 一、二〇
●國字參照 萬葉集檜嬬手 アララギ社刊 八五
●結婚と性相觀 栗塚竹齋 一、六〇
●宅地利用 四季收穫蔬菜畑 日本農業雜誌社編 七〇
●小學校を中心としたる地方改良 田子一民 八五
●宅地適用 蔬菜栽培の研究 片山穗太郎 八五
●基督敎罪惡史 久津見蕨村 一、二〇
●文檢修身敎育法制經濟受驗提要 內外敎育評論社編 二、四〇
●當世百道樂 堀內新泉 一、二〇
●大正五人男 村上浪六 一、〇〇
●醒めよ英國民 大隈武夫譯 七〇
●輸入歐集 笛 竹久夢二 一、二〇
●近松情話 岡本綺堂 八五
●シベリヤの少女 野村[illegible] 六〇
●裁縫の奥儀 松戶[illegible] 六五
●手輕でおいしい和洋料理の拵へ方 櫻井ちか子 八〇
●おつくり上手 平山[illegible] 八〇
●假面劇コーマス [illegible] 七〇
●ペン手紙と葉書の書方 [illegible] 八五
●模範ペン習字手本 [illegible] 二五
京城本町二丁目電話二〇八六番振替京城二五七三番 大阪屋號書店

御歲暮の御進物には
嶋屋 特製 九色詰合
なら漬 桶詰に限る 一個七十錢より三圓迄各種
高尙優美 經濟美味で もらつたお方が 大變お嬉びです
外に 守口味淋漬 山葵漬 蕪千枚漬 鮭粕漬 等色々最適品があります
御入用の際電話九〇三又は二三三〇番へ御申附け下されば直ぐ屆けます(相場表差上げます)
京城府岡崎町(青坂交番所前) 嶋屋本店漬物部
京城府北米倉町 嶋屋市內販賣部

帝國製麻株式會社製品 東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店 京城府龍山元町二丁目五十七番地 村松武八商店 電話二六番
營業種目 麻、綿、ズック、ダック類販賣 和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負 天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式
特許品(木材防腐劑) 東洋木材防腐株式會社製 クレオソリーム クレオソート

シノサキノ組合セ文房具


銃獵の趣味
朝鮮總督府[illegible] 吉村青陂著 (定價四十錢 郵稅二錢)
今や狩獵の好季節となれり狩獵者として必讀缺くべからざるものは本書也書中に含むる所銃獵の趣味と修養、銃器、彈藥、射擊、出獵、附屬品獵犬に關し詳說餘蘊なし附錄として狩獵規則其他狩獵の好場所を指示し獵者の案內者たり是非一本を購して携帶するを忘る可からざる也
京城太平通 京城日報代理部 (振替東京一二〇〇番)

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七二・一三九九番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話二八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

醫化學器械一式
(K) 仁川本町 北島藥店
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店
藥種賣藥卸商

怒濤の月

三十三 小林蹴月作 武内桂舟畫

凄き夜(六)の六

『遠慮せんと言うて見い。』

孫を嚇す老人のやうな、心から物柔らかな調子に、男爵の聲音は、變つた。

綱代は、それでもまだもじもじと爲ながら唇を顫はすのみであつたが何時かは一度言ひ出さずには、濟むべき筈がないと、恐る恐るが中にも、清水の舞臺から飛び降る覺悟で、やをら兩手を疊に支へた。

『御前樣、妾のお願ひと申しますのは、他の事でも御座いませんが……あの、御立腹とは恐れ入りますけれども……妾にはあの、幼い時分から親の許した大切の良人があるので御座います。』

『何ぢやと、綱代、いま一言乃公が前で言うて見い。』

折角雨後の月と冴え渡つた男爵の額には、ぴかぴかツと時ならぬ電が光つた。極端なる意外の驚愕は、覺えず男爵の兩手に早鐘の如き握り拳を作らしめたのである。男爵の肩は斜方形に變はれた。男爵の關羽髯は黑雲の如く逆立つて、而も凄じきまでに顫へた。

『では御坐いますけれども、御前樣まだその良人と結婚致した譯でも何でも御坐いませんのです。何れは、夫婦となるべき約束丈が、親々の間で取交されて居たまでの事で御坐います。』

内氣な小心な綱代も、茲まで言ひ出した時には、存外肚胸が坐つたものと見わて、今までのやうな處女らしい逡巡躊躇の有樣なしに、思つたよりも判然と答へをつゞけた。

『それでは綱代、お前が這般乃公が屋敷へ來るに就ては、先方の良人なる者と、穩便なる協議を遂げて來たのぢや。』

『何の協議も遂げずに參つたので御座います。』と、綱代は、又思ひ出したやうに眼の中を潤ませ、悄然として頭を垂げかけたが『御前樣、御譯に甘へる女と、思召すで御座いませうが、妾のお願ひと申しますのは此處の所で御座います。』

『此處の所も其處の所もあるものぢやない。それでは全然桑原と云ひ松崎と云ひ、彼奴等主從は、乃公を盲目に爲よつたのぢや。左樣な云々のある女と知つたら、最初から所望も爲ねば、活きた進物として受取りも爲んのぢや。直ぐにも電話を掛けて主從を呼び付けた上、嚴重の談判に及ばにやならん。』

男爵は、既での事呼鈴のボタンに手を掛けて、女中どもを呼び付けやうと爲られた。

『もしッ、御前樣、少時お待ち遊ばして……必ず、桑原さんや松崎さんのお科では御座いませんので……。』

『然らば、誰の科ぢや。こりや、綱代、察する處、お前が處女の假面を被つて桑原や松崎の眼を瞞着したばかりでなく、此の直則をも、僞りの網で押くろめやうと謀りをつたのぢやらう。それならば、御更容赦は相成らんぞッ。』

『いゝゑ……決して左樣な次第で御座いません。只今も申上げます通り、許婚と申しましても、ほんの親同士の口約束丈では御座いますがそれだからと申しましても、良人は良人で御座います。年老つた父や、懶しい仲の母親が、お金と云ふ重寶な物に眼が眩みまして、無理往生に妾を此方のお屋敷へ上げます折にも、妾は、人間の道として、是非なく一度丈は、その許婚の良人に會ひまして、潔く承諾を得ました上に此方樣へ上りたいと、泣きつ口說きつ懇て兩親に縋りましたので御座いますが、什うあつてもそれを承知して吳ませんので御座います。到頭、妾の身體は、活きた進物とやらに代用せられまして、此方のお屋敷へ上げられて了つたので御座いますが、何分共に心殘りなは、その許婚の人の上で御座います。假令一時間なりともその人に逢ひまして、妾の身の事情を述べました後ならば、そりや、毛頭否やは御座いません……情願、御前樣、妾の切ない心中をお察し下さいまして、一日その人に逢ひます丈の時間をお許し遊ばして下さいますやう……一ツのお願ひと申しますのは、此の事より外には無いので御座います。』

よくよく思ひ詰めての願ひなればこそ、綱代は、聲を顫らし、血を吐く苦痛を忍んで、言ひ得る限り言ひ盡くして見たのである。

戸外は、雨と風とが、相變らず烈しい。

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府永樂町一ノ商品陳列館通坂下 電話二一〇一番

人參キャラメル 御菓子か召して御覧よ心地よい 年末年始の御進物用に適す

口年忘

廿三日(土曜)の午後、揚亭、田打夫、木雨、浩一郎の四氏に不意の來襲を受けた、謂ふ迄もなく年忘れをやらうと許議即決、早速寄手して角乘上つた獻立は、茶碗、馬鈴薯、豆腐、雪洞者、雁の卵、納豆、數の子、筋子、明太の子、蟹漬、生姜酒といふ佛味津たるものである、杯は繁く動いた、佛面に花が咲いた、芭蕉翁の崇高な人格を稱へて現代俳人の墮落を慨嘆した、メートルが上るに從つて隱し藝も出た、酒盡きたので合圖に茶飯を掻込んで、ふらふらする頭を澁茶で抑へて一句宛駄句つて散會したのは丁度十二時だつた、納豆の苞を一本づゝひつ提げて

歳晩行く諸氏の緊張した面には損得と希望とが輝いた(俳師居)

年忘れ障子の外は雨の夜 浩一郎
俳味献立の数々あり年忘 木雨
寒さ來て爐に寄りぬ年忘 田打夫
隔意なく酔顔更けて年忘 揚亭
古句頌しつゝ年忘れの風呂吹り 耕佑

外科 内科 花柳病科 皮膚科 島崎病院 院長 正六位勲四等 島崎龍一 手術室新設 京城旭町二丁目(本通りより左へ入る) 電話二七三六番

新刊紹介

▲朝鮮農會報(十二月號)[illegible](朝鮮農會)
▲建築之日本(十二月號)挿畫には[illegible]圖の懸賞圖案を發表し記事には現代の要求する都市若造より見たる裝飾と建築其他を載む 一二十五錢東京市芝區[illegible]久保町一其社
▲東洋皮革新誌(十二月號)十錢大阪市東區内淡路町二の七七其社
▲碁(十二月號)十八錢大阪市東區今橋五の一四碁丙南社
▲正則中學講義錄(十二月號)東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會
▲市町村雜誌(十二月號)十錢東京市芝區田村町六其社
▲簿記世界(十二月號)十錢東京市神田區表十代町二の一大原簿記學校内簿記學研究會
▲逝友(十二月號)[illegible]女の未路等の外短篇俳句短文等(會費月十錢)京城大和町一六九其社

讀者の領分

▲年末年始の贈答品は無意味な虚飾に流れた物が多いが若し贈る必要があるなら乃木式に體裁のみを顧慮せず帯でもバケツでも實用品を提げて行つた方が誠意があつていゝと思ふ(實際主義論者)

▲小生去る廿一日旭町一丁目を通行中後方より自轉車の鈴鈴を聞き左方に避けたるに後ろより衝突せり幸ひに何等負傷せざりし返め同人に今後行方を通行する樣注意を與へたるに反つて貴樣に怪我をさせざりし以上いらぬ世話なりと暴言を吐きしも爭ふ事にあらざれば其儘歸宅せり自轉車に乘りしは同町某米穀商の店員なり(朝こみ生)

▲南大門小學校運動場の南側は高い石垣になつて鐵條網が張つてあるが石垣の上に何か圍ひをして置かないと夜通行する者は危險でならぬ(巡邏公爵)

▲知らずに居たら府廳の前へ汽車の時間表が掲げてあるが非常に便利だいゝ思ひ付きだと思ふ(本町商人)

内科 小兒科 婦人科 京城醫院 村上憲佑 本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番

社告

當月の支拂は左の通り相定め申候也

十二月三十日午前十時より午後四時まで

十二月二十四日 京城日報社

商況

下關期米相場

高値	一五、三六	一六、三五
安値	一五、三三	一六、二五
止め	一五、三六	一六、三四

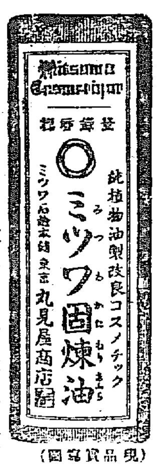
仁川期米

▲新安値跡返す [illegible]
▲後場の手振 [illegible]
▲大に買ふ [illegible]
▲現物界 [illegible]
▲穀氣配 [illegible]

仕拂通知 本月仕拂二十六日午後四時より六時三十分限り 毎月普通仕拂は例の通り十日午後六時より 例の通り七時半迄臨時仕拂は毎日午後六時より七時迄 自今南大門外販賣部にては一切仕拂は不致總て工場事務所に於て仕拂す 諸機械製作鑄造販賣 龍山練兵場前 中根工場 電話一〇四〇、一〇五龍二五六番

京日案内 普通 一回前金一行三十錢 番外 一回前金一行六十錢
◎七百坪の廣濶なる地面に住宅附きにて現に養鶏事業を經營しつゝあり至急賣渡したし(姓名在社) 977
◎金融 月收の御方へ極秘信用便宜立替御相談又御來談(姓名在社) 934
明治町筋通三の三二(拓殖前)起木屋 大和町三の三二 6
古本なら野村 明治町野村書店 買入誠實御報參上 827
電話讓たし 御用の方は電話二六七八番へ 976
◎電話二三六九番至急讓りたし 姓名在社 966
貸金 擔保皮信用大小兆迅速秘密取扱 本町四丁目廿三番(川提灯屋の横丁) 岩井商店 975
恩給年金低利即時現金立替 短期無保險並に勸業貯蓄債券買入 京城永樂町二丁目(金光敎北手)國江商會 830
外交計員採用 京城明治町一丁目 東京國債株式會社朝鮮支部 967
恩給年金長期即時立替月利壹歩二厘五毛 三年迄無保險 京城南大門外御成町 西鮮支店京義線沙里院 山口屋 廣川商店 843
京城春川間毎日自動車往復 京城春川間毎日午前八時卅分出發 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自動車 主務 金正淵 859
毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣 京城本町二丁目電二〇六五 椿元商行 885
全く防腐劑の入らない 日本醇良酒 卸小賣 京城新町二四 電話九一 田中酒造場 968
餅用豆小豆あん 種々賣出 年内中は御用達一貫目以上は速達 若草町一丁目 電話九五一番 京城製餡所 957
歳末歳始鉄禮仕候 京城黄金町五ノ三 浦田多喜人 970
質屋 設備完全秘密嚴守 取扱丁寧御報參上 京城明治町二丁目(明治町)電話六五 大塚質店 963
銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 増戸銃砲店 916

ミツワ石鹼 ミツワ家庭藥 規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品 發賣元



MITSUWA COSMÉTIC.

From carefully selected Mitsuwa Camellia Oil which is widely acknowledged as matchless for hair, Mitsuwa Cosmetic is made by the experts in our chemical laboratory through a special process.

It contains no grease nor injurious substances for hair. It is therefore inalterable and will not be rancid as cheaper cosmetics often do. Moreover an exquisite fragrance is blended to it. Mitsuwa Cosmetic possesses all the essential qualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintaines its vitality, lustre and colour. It is the most perfect one ever known to the art of cosmetic making.

Price 20 Sen.

本邦人の毛髮に適する完全なる鬢附油 純植物油製改良コスメチック ○ミツワ固煉油

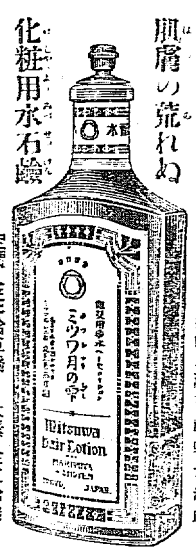
定價 金貳拾錢

毛髮を梳り髷を結ふに用ふるコスメチック、鬢附油の類は、多くは動物性或は鑛物性の油を以て製造せらるゝが故に、容易に分解腐敗して臭ふべき臭氣を放ち、毛髮の發育並に營養を妨ぐるに到る。然るに本品は最良無比の毛髮油として定評ある新鮮純粹なるミツワ椿油を基礎とし、油脂專攻の學者が最新の科學に據り研究案出せる特殊の方法を以て之を硬化せしめ、溫雅なる芳香料を加へたるものにして本品を在來のコスメチック或は鬢附油に代用すれば、毫も毛髮を汚さず脂垢毛髮毛を生ずる憂更になく、毛髮の發育を助け營養を良くし、其色澤を漆黑艶美ならしめ、容色に一段の美を添ふることを得、即ち本品は一般家庭に推奬すべき理想的實用美髮料なり。

(現品寫眞圖)

東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋 ○丸見屋商店 電話浪花四四八・四四九・四五〇〇番 電信略號〇ミヤ・振替東京七一〇〇番

馥郁たる芳香を有する 純良化粧用水石鹼 ミツワ水石鹼 技師 工學士 龍野太治郎



肌膚の荒れぬ 化粧用水石鹼

定價 金三拾五錢 大壜 金五拾錢

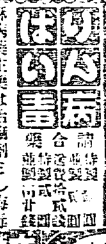
MITSUWA LIQUID SOAP.

Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even the tenderest skins. Price 35 Sen and 50 Sen.

ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衞生上許の賞揚となりて居ることは、ミツワ水石鹼も亦優良なる品質を具備せる一化粧料也、從來の普通水石鹼には動もすれば皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、本品は優秀なる原料を撰擇し、芳香料とを以て製造せられ、洗滌に際して適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、殊に此ミツワ水石鹼は皮脂の分泌夥多にして而かも皮膚細膩なる本邦人の化粧用石鹼として、理想的の進品なり。

賀 京城本町二丁目 電話二四二番 内科 小兒科 醫學博士 吉城憲治 醫學士 上野亮藏 入院隨意 無料施療す 毎日五名を限り

返信券添へ照會あれ詳細回答す



請合 りん病 はい毒 百圓 帝國醫科大學病院に於て治驗した藥を以て東京都九州帝國醫科大學上皇有効と證明した藥 麻病藥主藥は治淋劑こし梅毒藥主藥は駆梅内服劑こして本品は分析料として金百圓呈進す若し商違の證言に違へる事を保ちつゝあり あらゆる治療を講ずるも効なき患者兎に角一度相談あれ

にせ物に注意 降臨を求み東京大連青島其他到る處に偽物を賣る奸商あり 京城商會製劑を御購求の諸君は

大阪有田取次醫製を御買取可被下候 振替京城四六七番 電話長二五六七

京城 南大門外 大阪 グッド商會 販賣許可ヲ受ケタリ他ノ藥店ニ

大邱浦項間自動車發著時間

大邱出張所 電話一二七番 大塚農場自動車部

金泉間自動車發著時間 金泉織居自動車支部

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行 三河丸 一月一日正午出帆
相模丸 一月十一日正午出帆
高砂丸 一月廿一日正午出帆
○芝罘、大連、青島行 江原丸 一月 日前十時出帆
仁川海岸町一丁目 電話 番 回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○○小倉丸 月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○○小倉丸 月 日後四時出帆
○○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○天眞丸 六池回漕部 釜山海岸通新町本船取扱店

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 有吉丸 十二月卅一日後四時出帆
大吉丸 一月 日後四時出帆
秀吉丸 十二月廿八日後四時出帆
君が代丸 十二月廿六日後四時出帆
神代丸 一月六日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十 杉回漕部

×大智丸 一月五日後五時出
×安東丸 十二月廿九日
○群山、木浦、釜山、鎭海、馬山、麗水、統營、神戸、大阪行 信濃川丸 十二月卅一日正午出帆
×信濃川丸 一月十七日後二時出帆
▲鎭南浦、大連行 福州丸 一月十一日
○福州丸 十二月卅一日後二時出
×信濃川丸 十二月廿六日後二時出
○鎭南浦、神戸、大阪行 鎭南丸 十二月廿八日正午出帆
×須磨丸 十二月廿三日正午出帆
○清津、城津、西湖津、元山出帆 平壤丸 十二月卅一日後三時出
▲安平丸 一月十四日後三時出
▲宮島丸 十二月廿一日後五時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 御北丸 一月十一日午前六時出
基隆丸 一月二日午後四時出
京城切符發賣所 内鮮運輸會社仁川支店 大阪商船會社仁川支店

共同汽船仁川出帆
第十一共同丸 十二月廿八日正午出港 芝罘、大連行
本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆
○全羅丸 十二月廿六日 ○京畿丸 一月四日 ○黄海丸 一月十一日 ○成鏡丸 十二月卅一日 釜山發
○稻城丸 一月二日 ○昌平丸 一月八日 ○鎭城丸 一月五日 元山發
○平壤丸 一月 日 元山發
○盈德丸 十二月 日 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 毎 日 浦項發 釜山發
○三浦丸 十二月 日 釜山發
○濟州丸 ○統營丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○順天丸 二日目每に 木浦發
○慶興丸 十二月 日 木浦發
○慶興丸 一月二日 木浦發
○公州丸 十二月廿七日 木浦發
○宗信丸 十二月 日 仁川發
○江原丸 十二月廿八日 仁川發
○晋州丸 ○麗水丸 一月二日 十二月廿八日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

寄付 正 十二圓三十五錢 十二圓三十九錢
十二月限 一月限 二月限 納會 一萬六千百石 入兵 丸半日 五十